

# モチベーション行動科学部

- ◇ 認定心理士
- ◇ 「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格
- ◇ 社会福祉主事任用資格
- ◇ 学士（行動科学）

Tokyo Future University

学校法人 三幸学園

# 東京未来大学

## 通信教育課程

2024

# こども心理学部

- ◇ 認定心理士
- ◇ 幼稚園教諭免許状（一種・二種）
- ◇ 小学校教諭免許状（一種・二種）
- ◇ 社会福祉主事任用資格
- ◇ 児童福祉司任用資格
- ◇ 児童指導員任用資格
- ◇ 学士（こども心理学）



### ACCESS

- 北千住から2駅、東武スカイツリーライン（東武伊勢崎線）「堀切」駅より徒歩2分
- 京成本線「京成関屋」駅より徒歩7分

〒120-0023 東京都足立区千住曙町34-12

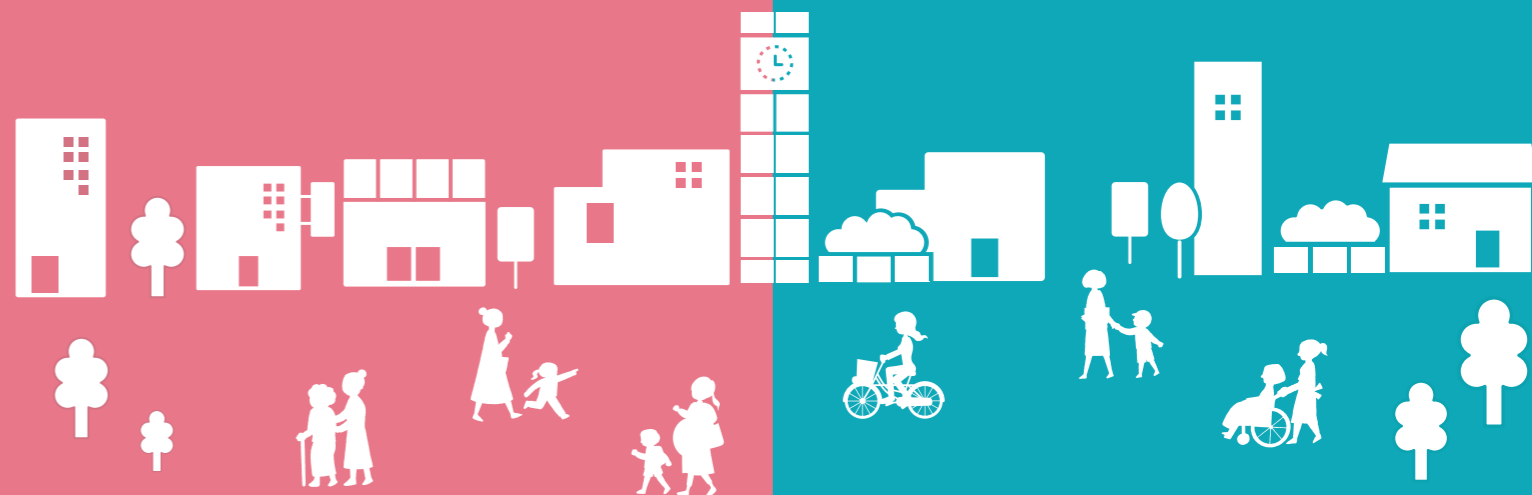
☎ 0800-888-5071（フリーコール）

✉ [tsushin-info@tokyomirai.jp](mailto:tsushin-info@tokyomirai.jp)

📄 <https://corres.tokyomirai.ac.jp/>



2024年4月発行



# “心理学”を通して視野を広げる

暮らし、教育、仕事、あらゆる場面において「人の心」は密接に関わっています。東京未来大学 通信教育課程では幅広い“心理学”の領域を学び、視野を広げ、社会生活に役立てることを目指します。

## 学長メッセージ

### 本質を見抜く力量の形成を

リスキングやリカレント教育が注目を集めるようになりました。この背景にあるのが、産業構造の急速な変化と人生100年時代の到来です。第4次産業革命ともいわれる情報技術の急速な進展によって、私たちは仕事を継続するために新たな知識の獲得や能力の向上が求められています。また、人生100年時代を迎え、従来の教育、仕事、引退という3つのステージからなる斉一的な人生モデルにかわって、ひとり一人が異なった時期に違う学び方、働き方を選び、自己の理想とする人生を追い求める、マルチステージモデルが登場しています。

こうした新しい社会状況では、これに対応する最先端のスキルや知識の習得が必要になるわけですが、他方、急激な社会変化の中では、次々に新しいスキルが求められ、これに翻弄されることとなります。このような事態で新たなスキル習得とともに必要なのは、変化の本質を見抜く力、そして変化の一つ先を見越して対処できる力量です。ここに大学で学ぶことの意味があります。

大学は真理を探究する場です。大学で学ぶ内容は、定着し常識化した事柄ではありません。今まさに生まれつつある新たな概念であり、現象です。新たな知の創出に立ち会い、時にその当事者となること、それが大学で学ぶということであり、この体験が社会変化の本質を見抜く力を養ってくれるはずで

本学通信教育課程は、皆さんの新たなスキルの獲得や資格取得に向けて確実な支援をするとともに、社会に対する確かな理解力、思考力を養う学びを提供しています。

学長 塚本 伸一 教授

立教大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程単位取得退学、博士(心理学)。国立上越教育大学助教授、立教大学文学部教授、同現代心理学部教授を経て、2022年4月立教大学名誉教授。この間、同大副総長、現代心理学部長、学校法人立教学院理事を歴任。現在、東京未来大学学長、学校法人三幸学園理事、日本応用心理学会理事。  
[主な著書] 共著『応用心理学ハンドブック』(福村出版)、  
編著『現代心理学への招待』(樹村房)



東京未来大学 通信教育課程

## 5つの特長

**1ヶ月に  
2科目ずつ履修!**

テキスト科目は、約1ヶ月ごとに最大2科目ずつ履修していく独自のシステムを取り入れています。短期集中で次々クリアしていくので負担が少なく、毎月達成感を得ながら学習を進めることができます。

詳細はp.7へ

高い **単位修得率**

(2022年度 年間実績)

**87.2%**

履修登録した学生のうち何割の学生が単位修得できたのかを表す数値です。本学では、開学以来80%以上を維持し続けています。

高い **卒業率**

(開学~2022年度 累計実績)

**55.2%**

どれだけの学生が卒業できたのかを表す累計数値です。編入学した学生には、卒業を目指さず単位修得のみ行い「修了(退学)」する学生もいますが、こちらは卒業としてカウントしていません。

**試験は  
Webで完結!**

テキスト科目の定期試験(中間試験・単位修得試験)は全てWeb上で受験可能。試験期間中(土日を含む3日~4日)、24時間いつでも受験できます。

詳細はp.7へ

すぐに  
相談できる

**キャンパス  
アドバイザー**

キャンパスアドバイザー(CA)と呼ばれるスタッフが、入学から卒業までしっかりサポート。入学と同時に担当が付き、卒業までしっかりと寄り添います。

詳細はp.21へ





# 卒業生インタビュー

case.01



学びを実践しながら  
前向きに取り組むことで  
仕事楽しくなりました

< こども心理学部 卒業 >

瀬野尾 栄子 さん

保育士養成校・小規模保育園勤務

埼玉県在住。60代。保育士養成校の非常勤講師として乳児保育や社会的養護などの授業を担当し、子どもたちが成長する姿を学生に伝えている。また、小規模保育園にも勤務。地区の主任児童委員も務める。

保育士養成校で講師をしながら、小規模保育園で保育士をしています。保育経験があっても、古い話ばかりでは学生に響きません。自分の学びを深め、学生にもっと質の高い内容をリアルな言葉で伝えたいと感じていました。そのころ地域の子どもの関する相談・支援を担当する主任児童委員に選任され、不登校や児童虐待などの問題に関わることが増え、この機会に最新の知識を身につけて学生や親子に寄り添いたいという思いが強くなりました。折しもコロナ禍で外出することが難しくなり、通信制大学で学ぶチャンスだと考えたのです。知人にどの大学を選んだら良いか相談したところ、東京未来大学は先生方が熱心で、学びを実践に活かすには最適の学習環境だと勧められました。また、入学前の説明会でキャンパスアドバイザーの方から心強い言葉をもらい、不安を払拭することができたのが入学の決め手になりました。

入学してみて、知人の言葉通りだと実感しました。通信教育の学習システムがしっかり構築されていたので、安心して勉強に集中できました。先生方が作成して下さった科目ごとの補助教材「学習の手引き」や、

学習の専用システム「CoLS」に寄せられた質問への回答などからは、先生方の人柄や学問への情熱が伝わってきました。さらに、レポートへの個別コメントには「こういう考え方もある」と新しい視点を示してくださったり、他学生の意見や考えを公開してくださったりと、様々なものの見方を学ぶことができました。

「学ぶことは心に優しさを刻むこと」という言葉を耳にしたことがあります。保育や教育の現場には、様々な悩みや思いを抱えながらも懸命に生きている子どもや学生がいます。まさにこの言葉のように、学んだことで彼らへの愛おしさが生まれました。また多様な視点を得たことで、私にとっての「普通」は彼らには「普通」ではないのかもしれないと気付かされたのです。そして試行錯誤しながらも、前向きに「今自分にできることは何か」を考えて日々直面する問題に取り組めるようになり、仕事が一段と楽しくなりました。これからもできるだけ長く子どもに関わる仕事を続け、学び続けていきたいと思っています。

case.02

目標はモチベーションの源。  
次のステップを目指し  
学び続けています



< モチベーション行動科学部 卒業 >

戸田 信一 さん

一般企業勤務

東京都在住。40代。決済事業会社でデータアナリストとして勤務。社会保険労務士、精神保健福祉士の資格を所有し、ソーシャルワーカーやパソコンのヘルプデスクなど多彩な経歴を持つ。

私は就職氷河期世代で、新卒時に就職活動が思うようにいかず、社会から置いていかれていると感じることもありました。あまり意欲の持てない20代を送っていましたが、一念発起して、社会保険労務士や精神保健福祉士の資格を取得。ソーシャルワーカーとして病院に勤務し、精神疾患を抱える患者さんの支援業務に携わりました。患者さんがやりたいことを明確にし、目標に向けて計画的に環境を整えていくことで状態が改善するのを目の当たりにしました。公私ともにモチベーションの大切さを身をもって知り、心理学を深掘りしたいと思うようになりました。スキル不足で向上意欲が持てない人、支援がないと貧困に陥ってしまう人など精神医療のボーダーラインにいる人を支えたい、そのためにはメンタルヘルスだけでなく金銭管理やキャリア形成もカバーする総合的な支援が不可欠だと感じ、その土台となる「コーチング」を学びたいと考えたのです。これらを学ぶことができるのが、東京未来大学モチベーション行動科学部でした。

東京未来大学で学ぶことで、改めて目標を持つことの意義を確認しました。会社でも業務上の目標を設定していますが、これまでは単なる進捗確認だと思っていました。しかしそれだけではなく、目標設定がモチベーションの

源となっていたことに気付いたのです。部下やチームメンバーに目標を守らせるというスタンスではなく、できたことを確認することで達成感や意欲を持ってもらえと学び、モチベーションにつながるような関わり方を意識するようになりました。

私は精神保健福祉士の資格を取得する際に別の通信制大学に通っていた経験もありますが、東京未来大学の「2 Semester・8ターム制」は、学習するうえで大変有効でした。毎月2科目ずつ履修するシステムなので、自学自習が中心の通信制大学であってもムラのない学習ができます。それでも、仕事をしながら計画通り学習を進めるのは決して簡単ではありませんでしたが、朝の3時間を勉強時間にあて学習するようになりました。卒業後もこの学習スタイルを継続させ、現在はキャリアの幅を広げるためにAIについて学んでいます。心理学やキャリアコンサルティング、ファイナンシャルプランニングを融合させた、バランスの取れたトータルカウンセラーを目指しています。データアナリストのキャリアも活かして、新しい領域を開拓できるのではないかと期待しています。次のステップに進むのが楽しみです。

## 取得可能な資格・教員免許状・学位

取得可能な資格・教員免許状・学位は、入学する学部・コースによって異なります。  
最終学歴や目指す資格等によって入学形態を選ぶことができます。

入学形態	コース	取得可能な資格・教員免許状・学位
こども心理学部	正科生 (1年次入学) <sup>※1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定心理士</li> <li>幼稚園教諭免許状(一種・二種)</li> <li>小学校教諭免許状(一種・二種)</li> <li>社会福祉主事任用資格</li> <li>児童福祉司任用資格(要実務経験)</li> <li>児童指導員任用資格</li> <li>学士(こども心理学)</li> </ul>
	正科生 (3年次編入学) <sup>※2</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定心理士</li> <li>社会福祉主事任用資格</li> <li>児童福祉司任用資格(要実務経験)</li> <li>幼稚園教諭免許状(一種・二種)</li> <li>社会福祉主事任用資格</li> <li>児童福祉司任用資格(要実務経験)</li> <li>児童指導員任用資格</li> <li>学士(こども心理学)</li> </ul>
	幼稚園教諭 一種免許コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定心理士</li> <li>社会福祉主事任用資格</li> <li>児童福祉司任用資格(要実務経験)</li> <li>幼稚園教諭免許状(一種・二種)</li> <li>社会福祉主事任用資格</li> <li>児童福祉司任用資格(要実務経験)</li> <li>児童指導員任用資格</li> <li>学士(こども心理学)</li> </ul>
	小学校教諭 一種免許コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定心理士</li> <li>社会福祉主事任用資格</li> <li>児童福祉司任用資格(要実務経験)</li> <li>小学校教諭免許状(一種・二種)</li> <li>社会福祉主事任用資格</li> <li>児童福祉司任用資格(要実務経験)</li> <li>児童指導員任用資格</li> <li>学士(こども心理学)</li> </ul>
科目等履修生・ 幼保特例制度受講生 <sup>※3</sup>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園教諭免許状／保育士資格(幼保特例制度の該当者のみ取得可能)</li> </ul>

入学形態	取得可能な資格・学位
モチベーション行動科学部	
正科生(1年次入学) <sup>※1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定心理士</li> <li>「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格</li> <li>社会福祉主事任用資格</li> <li>学士(行動科学)</li> </ul>
正科生(3年次編入学) <sup>※2</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定心理士</li> <li>「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格</li> <li>社会福祉主事任用資格</li> <li>学士(行動科学)</li> </ul>
科目等履修生 <sup>※3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格</li> </ul>

※1 正科生(1年次入学)

修業年限4年(最長在籍期間10年)

高等学校を卒業、または高等学校卒業程度認定試験に合格されている方などが対象

※2 正科生(3年次編入学)

修業年限2年(最長在籍期間5年)

大学、短期大学、編入学資格を満たす専門学校を卒業している方などが対象

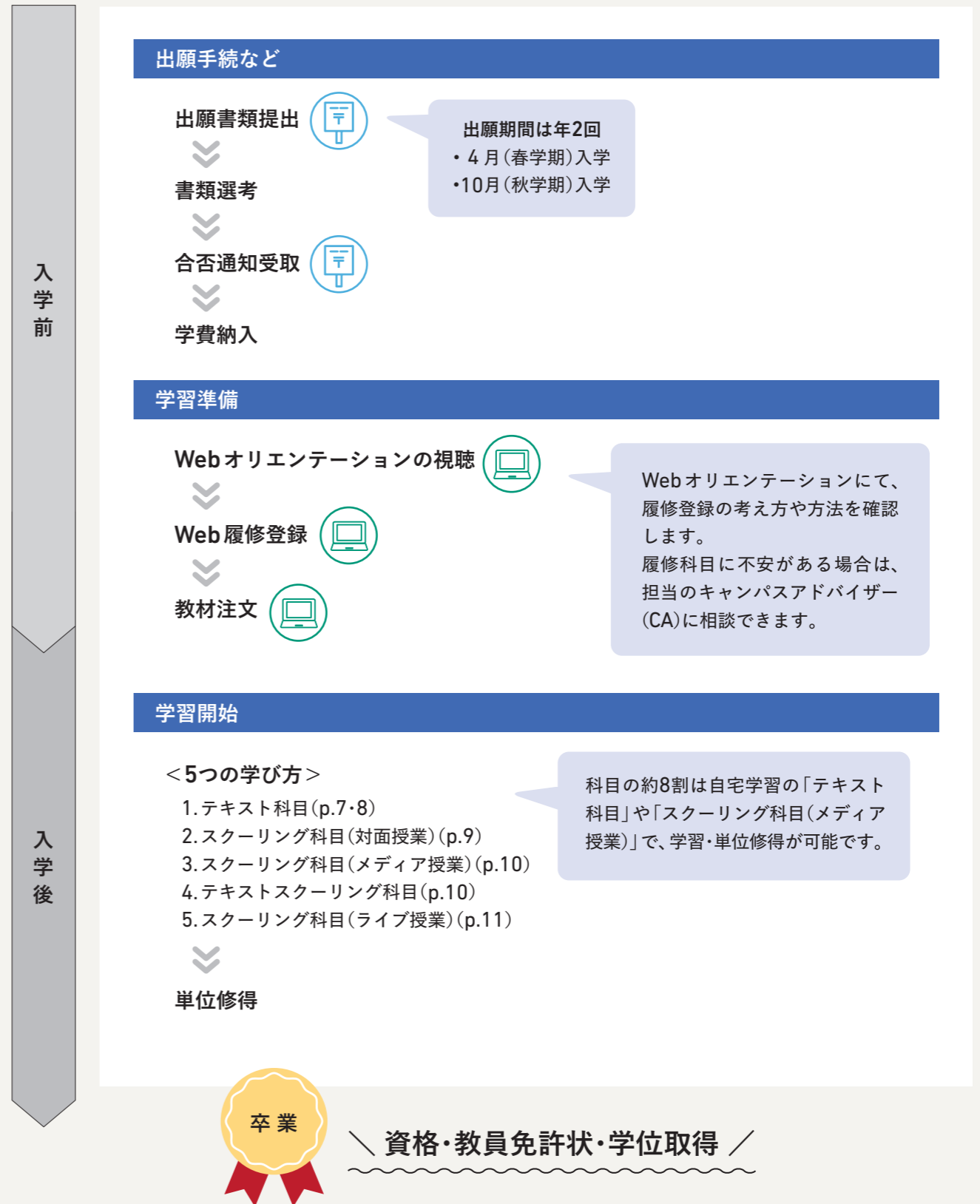
※3 科目等履修生・幼保特例制度受講生

登録期間6ヶ月(半年ごとに継続可)

高等学校卒業以上の方などが対象

## 入学から卒業までの流れ

入学準備のためのオリエンテーションや履修登録をはじめ、試験の受験やレポート提出はWeb上で完結できます。また、電話やメールで質問・相談することもできます。





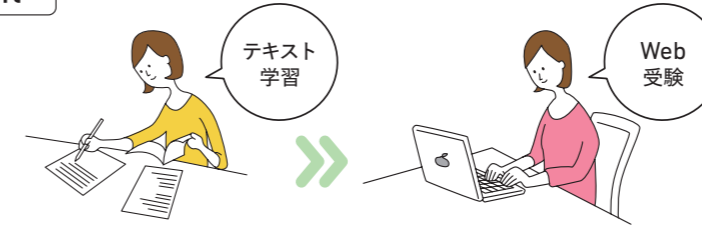


# 01. テキスト科目

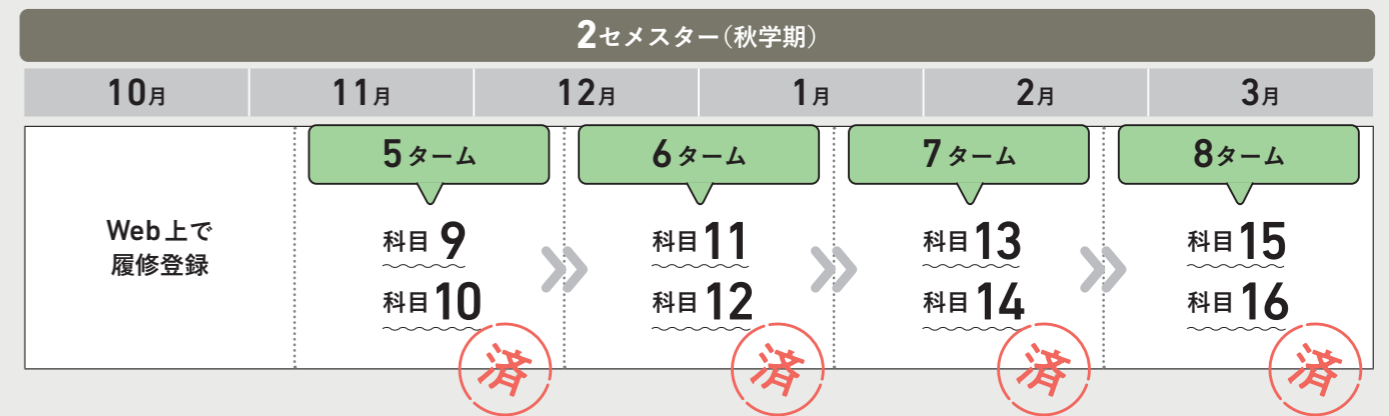
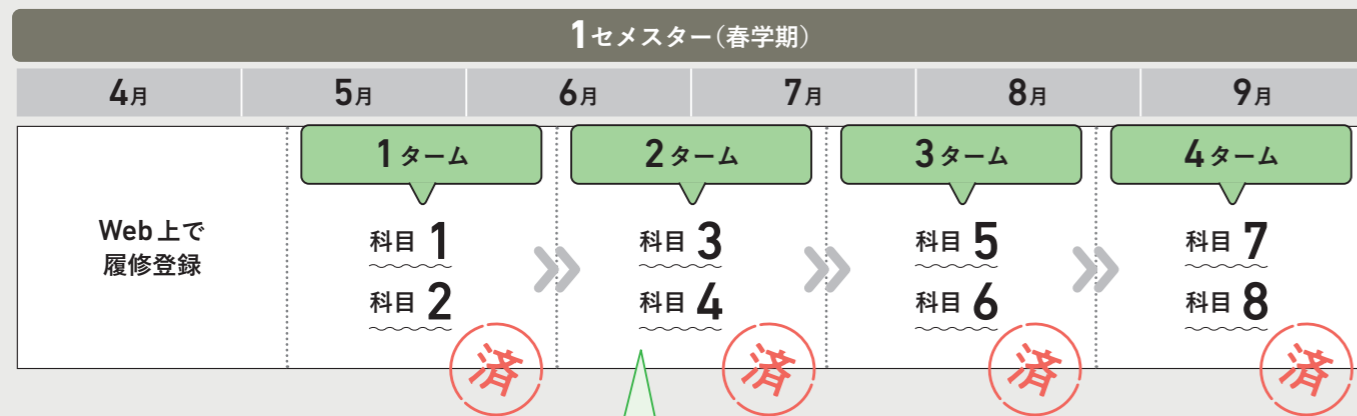
1ヶ月に2科目ずつ履修!学習から単位修得まで全て自宅で完結!

「2セメスター・8ターム制」と呼ばれる、1年間を半年ごとの学期(セメスター)に分け、さらにセメスターごとに4つの学習期間(ターム)を設置する学習システムを採用。各ターム(約1ヶ月)に2科目まで履修でき、1年間で最大16科目学びます。それぞれのタームでテキスト学習→中間試験→テキスト学習→単位修得試験を行い、1ヶ月ごとに単位修得ができるので、短期間に集中して着実に単位修得を目指すことができます。履修登録から単位修得まで、全て自宅から受講できます。

Point



- 01. 教科書と学習の手引きを活用しながら自分のペースで学ぶ
- 02. 通学不要。試験はWeb上から受験
- 03. 試験は2週間おき。短期集中で着実に単位修得



## 各タームの流れ



在学生の声

週単位の計画的な学習が達成感とやる気につながりました



F.Tさん  
こども心理学部  
正科生(1年次入学)在学中

東京未来大学には、児童心理学を学びたいと考え入学しました。「2セメスター・8ターム制」や土日祝日のスクーリングなどの学習方法に加えて、卒業率が高いことに魅力を感じたことが入学の決め手になりました。特に「2セメスター・8ターム制」は、週単位でのペース配分ができ学習計画を立てやすいのが利点です。私は週ごとに学習計画を立て、スキマ時間も活用して取り組んでいます。次々に計画をこなしていくと達成感が味わえ、楽しく学習に取り組みます。学習の結果をすぐに確認できるのもやる気につながります。2週間に

1回のテストは決して楽ではありませんが、これが「半年に1回、10科目のテスト」でしたらなかなか学習ペースがつかめず、やる気を継続するのも難しいと思います。また「学習の手引き」は大変分かりやすく、学習の目標にしやすいのも助かっています。教科書をただ読んでいるだけでは何が重要なのか、本当に理解しているのかなど気付きにくいところもあります。「学習の手引き」を利用することでより理解が深まりますし、自分の解釈の間違いいも気付くことができます。試験がWeb上で受験できるのもありがたいですね。

40代、埼玉県在住。発達障害や学習障害の児童、不登校の児童専門の学習塾を経営している。児童心理学を学ぶため入学を決意。



## 02. スクーリング科目（対面授業）

東京未来大学に通学し、実践的な授業を学ぶ

実技や実験が必要となる科目や、自宅学習では理解が難しい科目は、教員が直接授業を行うスクーリング科目(対面授業)として実施しています。仕事や家事・育児などで忙しい方でも出席しやすいよう、土日祝日や夏期間(8月)にスクーリングを開講。グループディスカッションを通して学びを深め、疑問点を直接教員に質問することが可能です。

### Point

01. 教員の授業が直接受けられる
02. 授業は土日祝日、夏期間(8月)に実施
03. グループディスカッションで学びを深められる



### 3種類のスクーリング

#### 週末スクーリング

スクーリング中も余裕を持って予習・復習をしながら学びたい

2週間にわたる  
土日の **4日間** で **1科目履修**

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	週末	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

#### 短期スクーリング

遠方に住んでいるので、短期間で集中して学びたい

土日祝日などの  
3連休の **3日間** で **1科目履修**

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	短期	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

#### 夏期スクーリング

週末は忙しいので、夏期休暇中に複数科目をまとめて学びたい

夏期間(8月)の **3日間** で **1科目履修**

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	夏期	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

※一部、5～6日間で1科目履修する科目もあります(認定心理士要件2科目)。



## 03. スクーリング科目（メディア授業）

約1ヶ月間、授業の動画を視聴して学ぶ

パソコンやスマートフォンから授業の動画を見て学習します。1ヶ月の学習期間に、動画の視聴、確認テスト、最終テストの受験をします。24時間いつでもどこでも受講できるので、ライフスタイルに合わせて学習することができます。

### Point

01. 視聴期間は約1ヶ月
02. いつでもどこでも受講可能
03. 反復学習で理解を深められる



### スクーリング科目（メディア授業）の流れ



## 04. テキストスクーリング科目

自宅でのテキスト学習と、2日間の対面授業

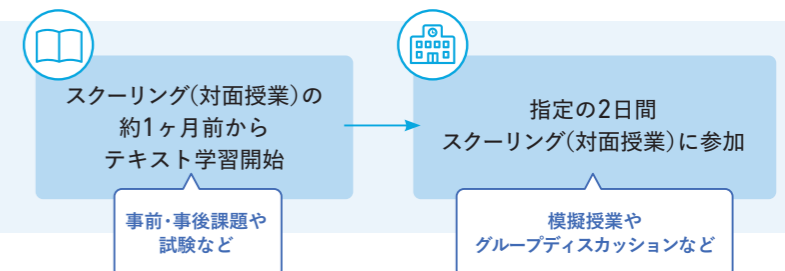
教員免許状取得に関わる一部の科目は、テキスト科目とスクーリング科目(対面授業)の特長を併せ持った科目として実施しています。自宅でのテキスト学習で理論を学び、2日間のスクーリング(対面授業)で実践を学びます。教員になるために必要な「実践指導力」や、学校現場が抱える課題への「対応力」を身につけることができます。

### Point

01. 土日などの2日間通学
02. 事前に自分のペースでテキスト学習
03. 模擬授業などの実践的な内容が学べる



### テキストスクーリング科目の流れ







NEW!

## 05. スクーリング科目（ライブ授業）

### オンラインでリアルタイム授業

スクーリング科目の一部科目を、オンライン会議システム（ZoomやGoogle Meet）を使った、リアルタイム遠隔授業として開講します。自宅から授業に参加することができるので、交通費や宿泊費の負担もなく、より授業に参加しやすくなりました。

#### Point

- リアルタイムでコミュニケーション
- 自宅から授業に参加
- 疑問点はその場で質問できる



#### 在学生の声

### 対面授業で仲間と共に学ぶことで理解が深まりました

経営学と心理学に興味があった私にとって、東京未来大学はその両方を通信で学べるうえ、認定心理士や「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格を取得できることが魅力的でした。仕事と勉強を両立するため、常に教科書を持ち歩き、仕事の待ち時間や電車の中などスキマ時間を利用して蛍光ペンを片手に教科書を読み込んでいます。

モチベーション行動科学部で学ぶ内容はどれも興味深く、中でも心理学は、スクーリング科目（対面授業）ではかの学生と共に学ぶことでより深く理解できる面が多く、特に有意義でした。対面授業はテキスト科目と違い、先生方の表情や声のトーンがダイレクトに伝わってきます。

そのため授業の要点を確認しやすいですし、資料もポイントを押さえて作成されていて分かりやすいです。またスクーリング中は幅広い年齢層の仲間と交流の機会を持つことができました。休み時間や昼食時には、学業だけでなく家族や仕事のことなど様々な話をし、まるで学生時代に戻ったような大変楽しい時を過ごすことができました。

さらに私はゼミを専攻しているのですが、論文を作成する際の対面授業では、研究に関わることから分析ソフトの使い方まで丁寧に指導していただき、たくさんの収穫がありました。論文が完成したときの喜びは忘れられない経験となりました。

K.Iさん  
モチベーション行動科学部  
正科生（3年次入学）在学中

福岡県在住、50代。医療・福祉関係の研修講師。今後も大学院に進学するなどして学び続けたいと考えている。



## 半年間の履修例

入学後は目指す資格、学びたい内容によって履修計画を立てていきます。

### 小学校教諭免許状の取得を目指す！

こども心理学部で、小学校教諭免許要件科目の履修と、卒業（学士）を目指します。  
半年でテキスト科目8科目と、テキストスクーリング科目2科目を履修。



#### 春学期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
		1ターム	2ターム	3ターム	4ターム	
テキスト科目		子ども美術	教育の方法と技術 (情報通信技術の活用を含む)	社会	道徳教育	
		理科	教育学概論	生徒・進路指導	子ども教育課程論	
テキストスクーリング科目		初等国語科教育法		初等算数科教育法		

※こちらはあくまでも履修例です

#### column

#### 教員採用試験対策講座

教員を目指す方を対象に、外部の教員採用試験対策講座を提供しています。講座は対面式のもの、Web講座があります。また、教員採用試験に申し込んでいる学生を対象に、二次試験の対策講座も実施しています。集団面接・集団討論等、自治体によって異なる試験内容に広く対応できるよう、講座を開講しています。

※二次試験の対策講座は東京未来大学で実施されます。

### 認定心理士と「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格取得を目指す！

モチベーション行動科学部で、認定心理士要件科目の履修と、卒業（学士）を目指します。  
半年でテキスト科目8科目と、スクーリング科目（対面授業）・（メディア授業）をそれぞれ1科目ずつ履修。



#### 秋学期

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		5ターム	6ターム	7ターム	8ターム	
テキスト科目		心理学概論	モチベーション論I	コミュニケーションの心理学	地域と社会	
		教育学概論 (モチベーション)	産業・組織心理学	経営学	異文化 コミュニケーション	
スクーリング科目 (対面授業)		心理療法				
スクーリング科目 (メディア授業)				コーチング		

※こちらはあくまでも履修例です

#### column

#### 「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格とは

一般社団法人モチベーション・マネジメント協会が認定する、新しいビジネス系資格です。取得のための学びを通じて「モチベーションをマネジメントする力」を修得できます。自分自身に対するモチベーション・マネジメントを中心に、主に実践スキルを身につけます。上司や同僚とのコミュニケーションの活性化にも役立ちます。

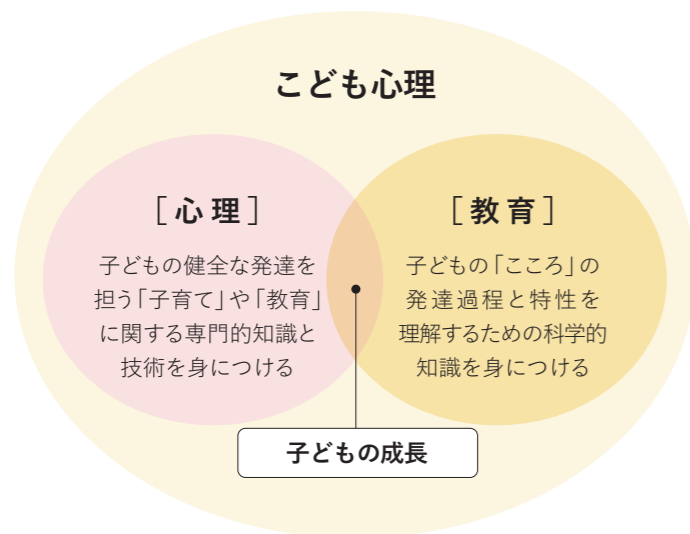
# こども心理学部

こども心理学科

## 子どもの心を理解し、発達や成長を手助けする

こども心理学部では、子どもの心理に精通した専門家として、心理・教育系分野で活かせる力を養います。実践としての「教育」と科学としての「心理」を学ぶことで、子どもの心を読み取り、その発達や成長を手助けできるスキルを身につけます。

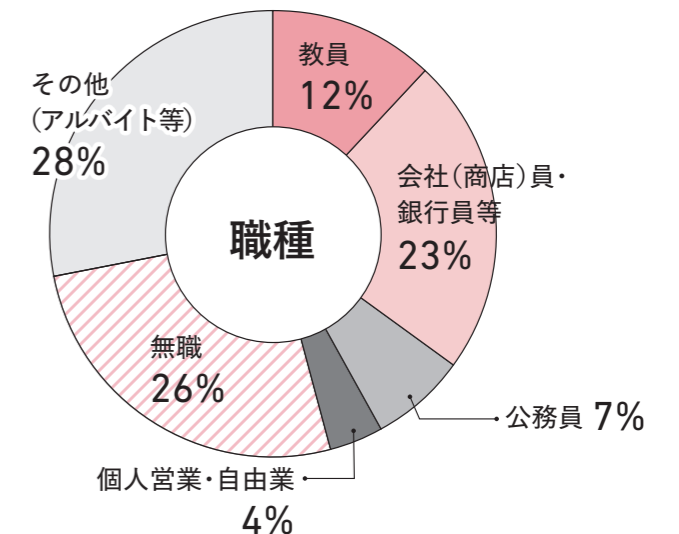
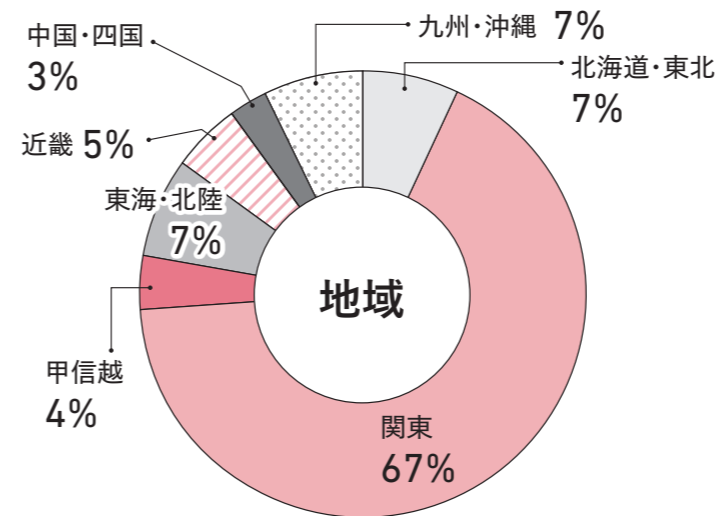
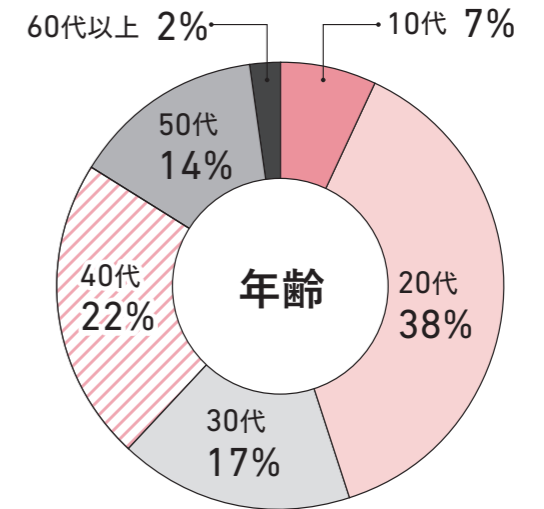
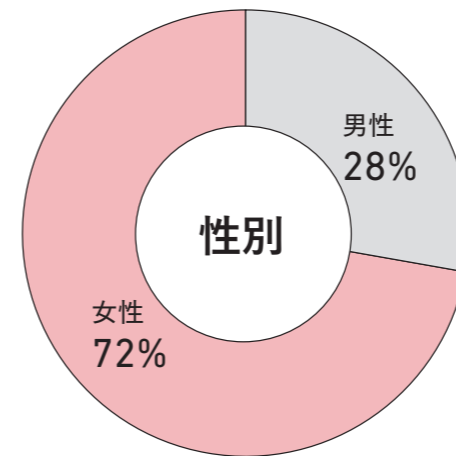
## ● 学びのポイント



### 身につく力

- 子どもたちを幸せにする力
- 教育現場での指導力・実践力
- 家庭で役立つ子育て力
- 発達障害のある子どもを理解する力
- 子どもたちを危機から守る力
- 資格を活かした専門力

## ● 在学生データ



## 学部長メッセージ



こども心理学部長  
出口 保行 教授

### 青年期以降をも視野に入れた幅広い学びで 子どもの心を理解する

「こども心理学」と聞くと、その名前から子どもに特化した心理学を学ぶように感じるかもしれませんが、当学部は、青年期以降も視野に入れた幅広い年代の心理学を学習対象としています。目の前にいる子どもの心理を理解するためには、成長に伴ってその後どのように変化するかを理解することが重要だからです。また、一口で心理学といってもその内容には非常に多岐にわたる分野がありますので、横断的に幅広く学ぶことによって、いわゆる心理学ワールド全体を理解することが可能です。加えて、教科書や教室での学習や研究を実際に学外で実践し、その経験を持ち帰って再び学問につなげる「科学者=実践家モデル」による学びも特徴の一つです。通信教育課程の学生の多くは、何らかの形で社会での活動経験があり、十分実践家といえるので、学習した知識を一層高める効果はとて高いでしょう。社会生活と照らし合わせながら、しなやかに広い視野を持って学んでください。

## ● PICK UP カリキュラム

どんな科目が学べるのかチェック！

### 👤 教育心理学 (テキスト科目)

子どもは、幼児期から青年期に至るまで長い時間を学校や集団教育の場で過ごします。その過程で、友人や先生との関係に悩んだり、学習上の壁にぶつかったりすることもあります。教育心理学では、教育現場で生じる様々な問題を心理学の観点から考察して対処方法を考え、子どもの幸せな未来に貢献できるよう学んでいきます。

### 👤 発達障害学 (テキスト科目)

発達障害は、個人の持っている能力に凸凹があることで、最近是一般にも知られるようになりましたが、その実態については理解が不十分なようです。発達障害は個性といわれることもありますが、当事者はとても生き辛さを感じている場合もあります。この授業では発達障害の理解を深めて、どのような援助法があるかを学んでいきます。

### 👤 親子関係の心理学 (テキスト科目)

イヤイヤ期や思春期の反抗など、子どもの発達段階において、親子関係の危機は何度も訪れます。こうした親子の課題に臨床家(カウンセラー)はどのようなサポートをしていくのか、事例の検討を通して学んでいきます。また、地域社会が変容する中で、どのような親子支援が昨今の時代背景から求められているか、理解を深めることを目指します。

### 👤 幼児理解と保育相談 (テキスト科目)

保育者は子どもの行動面での表面的な理解だけでなく、様々な形で発せられる表現に目を向け、子どもの内面を理解することが必要です。事例を通して子どもの心や表現に目を向け、子どもの思いを理解し、適切な援助について考えます。また、保護者に寄り添い、共に子どもの成長を支えるための援助の仕方を学びます。



# 在学生インタビュー



**亀井 龍** さん  
こども心理学部  
正科生(1年次入学)

徳島県在住。20代。製造業で昼夜二交代制の勤務をしながら、勉強を続けている。



**中村 裕子** さん  
こども心理学部  
正科生(1年次入学)

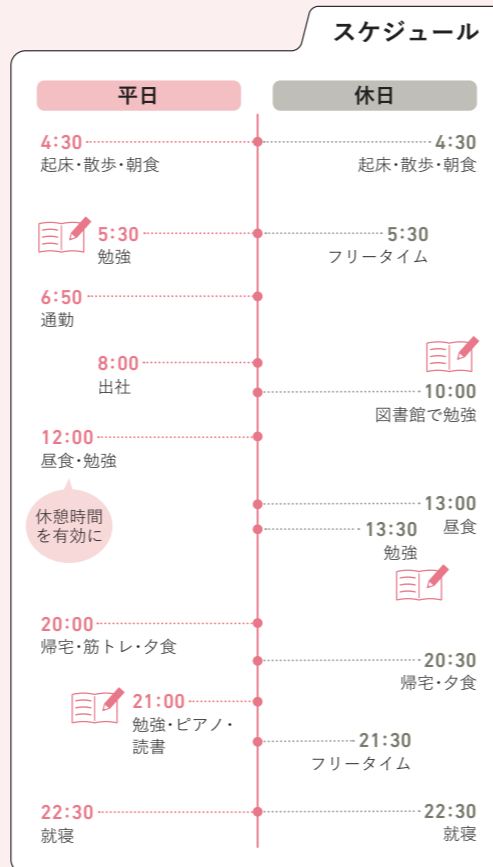
東京都在住。40代。営業職の会社員として働きつつ、趣味でフラダンススクールも主宰している一児の母。

## 学ぶ喜びを知って、 人生の選択肢が広がりました

工業高校を卒業後、進学せずに就職しましたが、先生になりたいという幼いころの夢がよみがえり、チャレンジしたいという思いが強くなりました。経済的なことを考えると仕事は続けたかったので、通信制大学を調べていたところ、東京未来大学はスクーリングが週末に設定されており、試験もWebで受けることができると分かり、ここなら仕事と両立できると確信し入学を決めました。

勤務している工場は二交代制で残業もあるので、早朝に起きて勉強時間を確保しています。生活リズムが定まると、それほど大変ではありません。自分で働いたお金で学ぶのだから無駄にしたいと、おのずと真剣になるし、何より新しい知識を学ぶこと自体が純粋に楽しくなりました。東京未来大学で学ぶようになってからは、知的好奇心が刺激されて、経済やIT、介護など全く違う分野にも興味湧くようになり、資格も取得しました。教員採用試験の勉強をきっかけに始めたピアノは趣味になり、発表会にも出演。これまでの受け身の勉強では味わえなかった学ぶ喜びを体感しています。

徳島県在住なので、スクーリング科目(対面授業)は勤務終了後、夜行バスなどを利用して参加しています。対面授業ならではの学びもあるし、人生の先輩でもある仲間の話を聞いて新しい発見もありました。今は小学生のときに憧れた先生のような教師になるのが目標ですが、障害のある方や高齢者のサポートを行う事業を起こすという新たな夢も生まれ、人生の選択肢が広がったと感じています。

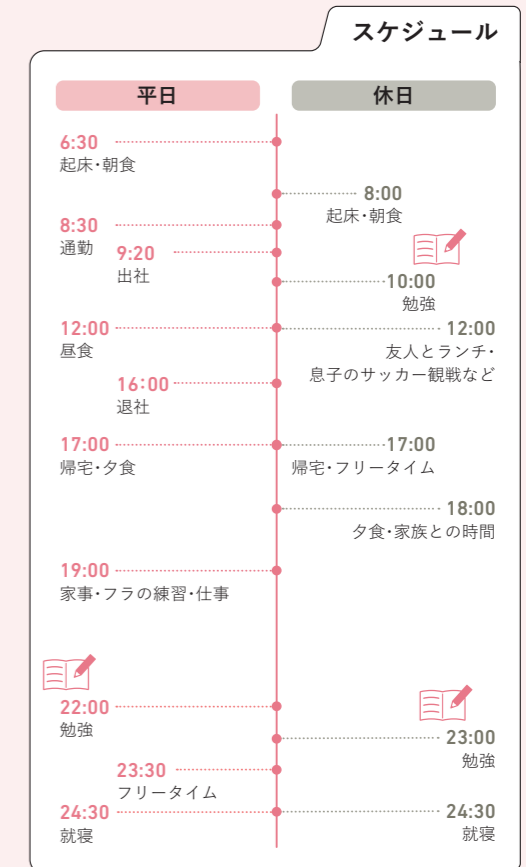


## 仕事も家庭も勉強も日々挑戦。 息子との向き合い方も変わりました

未就学児を対象としたフラダンスクラスでインストラクターをしており、子どもたちの気持ちに寄り添うためにこどもについての心理学を学びたいと思うようになりました。東京未来大学は幼稚園教諭免許状が取れるだけでなく、多角的にこどもの心理を学ぶことができるのが魅力で、入学を決意しました。

仕事や家事、育児と勉強を両立させるため、タームごとに教科書を確認し、1日にどれくらい進めればよいか考え学習計画を立てています。一番苦心するのは勉強時間をどう捻出するか。小学生の息子と会話する時間を優先して確保したうえで、家事の効率化や省力化を心がけています。心理学を学んだことで、息子との関わり方にも変化が出てきました。これまで私は息子に完璧を求めていましたが、結果よりも過程が大切だと伝えることができるようになり、息子にも良い影響が与えられたと感じています。

勉強の支えになっているのは、ねぎらいの言葉をかけてくださる先生方や励まし合える仲間の存在です。スクーリング科目(対面授業)で出会った仲間は年齢や環境は様々ですが、目標に向かって頑張っている姿に力をもらっています。将来は、フラダンススクールに子どもが安心して通えるキッズクラスを作りたい。そしていずれは不登校やいじめなどで悩んでいる子どもたちを支援できるカウンセラーになりたい。これらの目標が学びの原動力となっています。



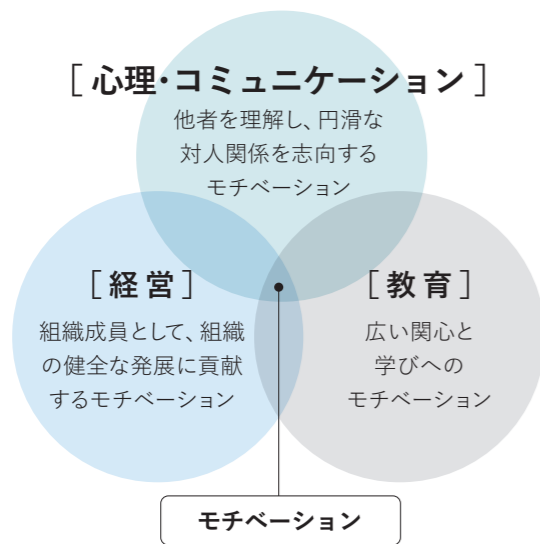
# モチベーション行動科学部

モチベーション行動科学科

## モチベーションを科学的に学び、自分や周囲の活性化を促す

モチベーション行動科学部では、企業や地域社会、教育現場などで、自分自身・他者・組織のモチベーション（動機づけ）をマネジメントする力を養います。モチベーションに関する研究に基づき、「心理・コミュニケーション」「経営」「教育」の3領域を複合的に学びます。

### ● 学びのポイント



### 身につく力

- 自分自身のモチベーションを考え、気付く力
- 他者のモチベーションを知り、協働するコミュニケーション力
- プレゼンテーション力や行動力などの組織力

### 学部長メッセージ

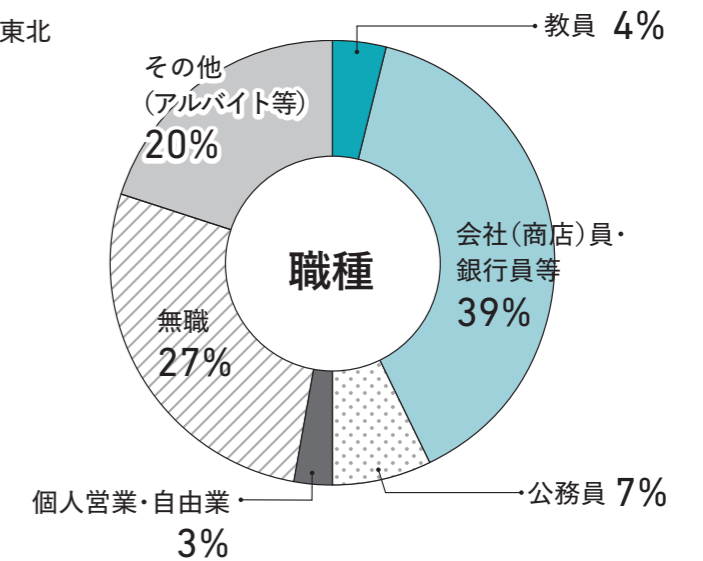
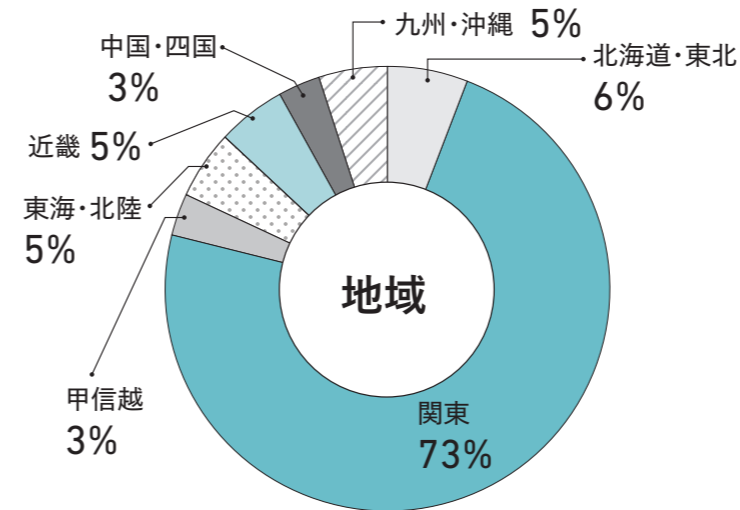
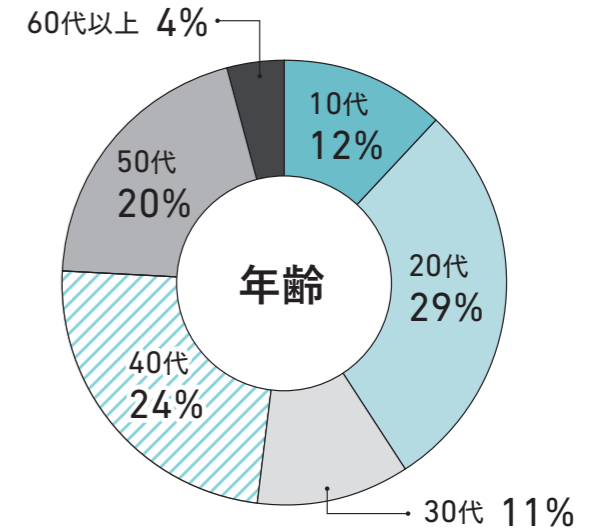
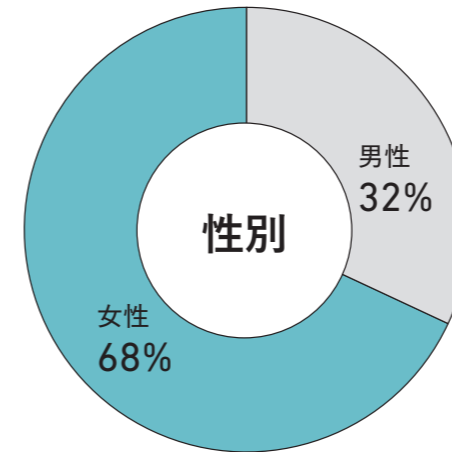


モチベーション行動科学部長  
高橋 一公 教授

### 「モチベーション」を理解し、社会でスキルアップするために

私たちは、誰もが組織や集団に所属しています。そこでは周りの人の考えを咀嚼し、気持ちをくみ取ったうえで、自分が何をすべきかを定める力が求められます。モチベーション行動科学部では「個人をみつめる力を身につけること」「他者と関わる力を身につけること」「組織を動かす力を身につけること」の学びの到達目標である3つのディプロマ・ポリシーに基づき、モチベーションやリーダーシップを科学的に解明し、社会の中で必要なコミュニケーション能力や多面的なものの考え方を身につけていく「学び」が特長となっています。職場や家庭を離れ、大学のような自由な発想を大事にする場に身を置いてみると、きっと皆さんはこれまでとは違った新たな「学び」を見つけ、自分の隠れた一面を発見することができるかもしれません。モチベーション行動科学部での「学び」を、積極的な人生の過ごし方や人生で自分が果たす役割のスキルアップにご活用ください。

### ● 在学生データ



### ● PICK UP カリキュラム

どんな科目が学べるのかチェック！



#### ストレスマネジメント論 (テキスト科目)

ストレスマネジメントとは、ストレスの予防と軽減を目的とした具体的な試みの中で、自分自身のストレス傾向を知ることから始まります。ストレスを増幅させるような物ごとや対人関係の捉え方を理解したうえで、自身に合ったストレスマネジメントを実践し、日々のストレスを和らげ、受け流していく方法を身につけましょう。



#### モチベーション論I・II (テキスト科目)

モチベーションとは目標に向けて行動を喚起する心理的エネルギー、意欲・やる気など行動を促す動機のことです。モチベーション論IおよびIIでの学習を通して、日常や仕事などあらゆる場面で重要となる「意欲」を高め「努力」を維持する方法について心理学的に考察し、モチベーション向上を実践する力を養います。



#### コミュニケーションの心理学 (テキスト科目)

私たちが普段何気なく行っているコミュニケーションや対人関係の成り立ちについて学びます。人の言葉や表情、説得や交渉といった他者の心を動かす行為、他者との関係性構築に関わるコミュニケーションなどを心理学の視点から探ってみることで、皆さん自身の対人関係について客観的に考えるヒントを得ることができます。



#### コーチング (スクーリング科目(メディア授業))

部下や後輩の指導、親子関係など対話を通して自分や相手の「やる気」「気付き」を引き出し、変化に対応する力をつけるための方法・コミュニケーションスキル(=コーチング)を伝授します。演習を多用し、セルフコーチングを実践することで自身を理解し、他人に実践する際のコツも身につけられる実践型の授業です。



# 在学生インタビュー



**中澤 清美** さん  
モチベーション行動科学部  
正科生(3年次編入学)

千葉県在住。40代。都内と千葉県内に事務所を持つ税理士法人の副所長。税理士会の研修や新しい会計ソフト、税法の勉強会など日々研鑽を積んでいる。趣味のテニスにも打ち込む。



**米山 智子** さん  
モチベーション行動科学部  
正科生(3年次編入学)

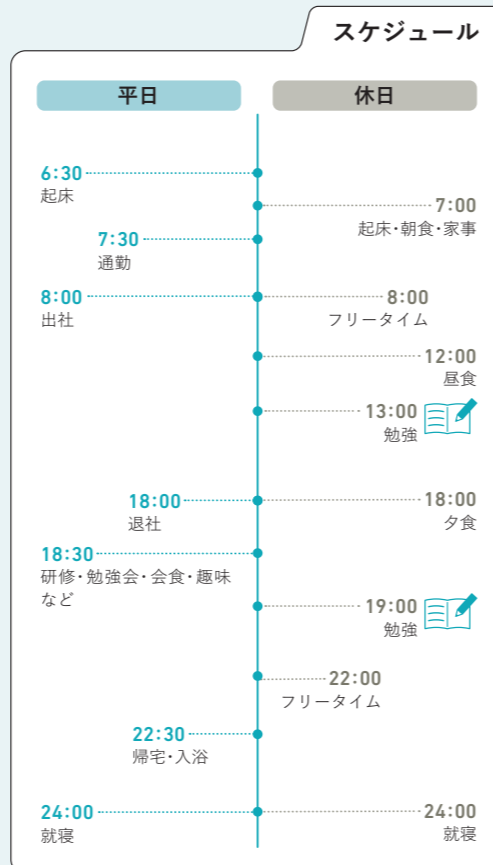
東京都在住。60代。認可保育所で施設長を務める。東京未来大学こども心理学部通信教育課程の1期生。モチベーション行動科学部科目等履修生として学んだ後、正科生(3年次)に編入学した。

## 学ぶことは楽しい！学びが自信になり人間関係も良好になりました

税理士として、税金のアドバイスや申告書の作成などを行っています。仕事は税の知識さえあればいいわけではありません。お客さまから家庭内の問題など、様々な悩みを打ち明けられることや、経営者のお客さまから経営相談を受けることもあります。そうした経験から心理学やコーチングへの関心が高まり、大学で学びたいという気持ちが強くなりました。働きながら学べる大学を探したところ、東京未来大学のモチベーション行動科学部を見つけ、心理学に加えて経営学も学べることが分かりました。「2セメスター・8ターム制」なら無理なく学習ができ、スクーリング科目(対面授業)も通いやすい日が設定されているので、仕事と両立できるだろうと思いい入学を決めました。

現在は、「2セメスター・8ターム制」のメリットを活用して学習計画を立てています。仕事の期日やテストの予定などタームごとのスケジュールを把握し、それにかかる時間を勘案しつつ優先順位をつけるようにしています。学期が終わればリフレッシュし、土日のどちらかは外食するなどオンオフの切り替えを意識することで、学習意欲もより高まっています。何より、学ぶことは純粋に楽しいです。学んだ「傾聴」(※)を実践すると、お客さまの話をこれまで以上に引き出せるようになりました。「コーチング」は社員への言葉がけや接し方に活かすことができている。学びが自信につながり、家族やお客さまとの関係も良好になっている手ごたえを感じます。

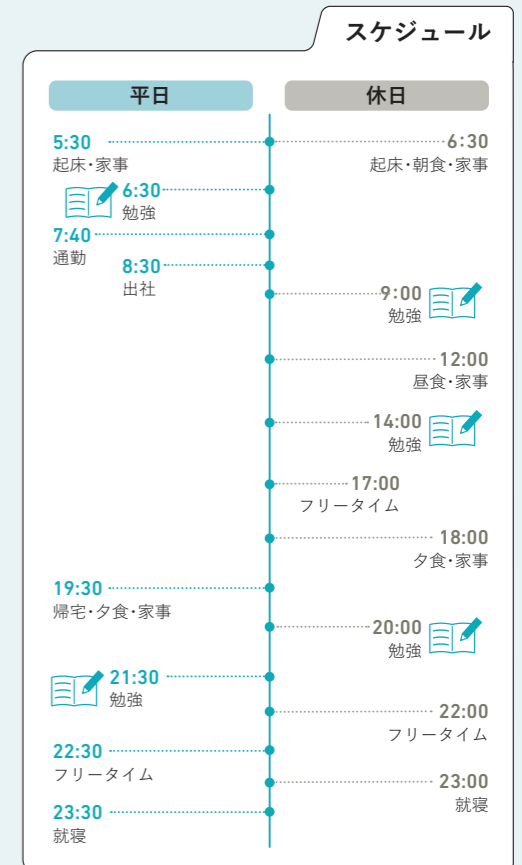
※相手の話を、相手の立場に立って、相手の気持ちに共感しながら理解しようとするコミュニケーション技法



## 認められることがモチベーションに。仕事への向き合い方にも変化が

東京未来大学こども心理学部を卒業した後、モチベーション行動科学部が設置されたこと知り、保育や職員のマネジメントに不可欠なモチベーションを学びたいと考え入学しました。「2セメスター・8ターム制」は自分で履修科目を組み立てて、短期間に集中して次に進めるので自分に合っていると思いました。忙しい毎日ですが、休日も集中力が続く限り学習をしています。

スクーリング科目(対面授業)では多様な業種の人と一緒に学び、話を聞けることに充足感を抱くと同時に、様々なことに興味を持つ仲間に刺激を受けています。印象に残っているのが、心理演習のグループワーク。「他の人の良いところを挙げてください」という課題でした。自分の長所はなかなか見つけられませんが、他の学生から「受け止めてもらっている安心感がある」という言葉をもらい、自分を認めてもらえたことに心が温かくなるのを感じました。日ごろから子どもたちには「いいね」「よくできたね」と肯定的な言葉をかける一方で、対職員となると管理職として指導しなければならないという思いが先立ってしまいます。しかしどんな言葉をかけられたかによって気持ちも変わります。まずは認めることが大切だと再認識しました。大人でも子どもでも、相手を否定することなく認め合える関係を作っていきたい。仕事への向き合い方にも変化が生まれ、大きな収穫となりました。



キャンパスアドバイザーが答える

Q & A

教えて！  
キャンパス  
アドバイザー



孤独を感じがちな通信制大学での  
学生生活の不安を解消

学生一人に対して担当キャンパスアドバイザー（CA）が複数名体制でつき、履修科目や学習の仕方など通信教育ならではの悩みまで、様々な質問・相談に対応します。入学から卒業後まで学びを続けられるよう、しっかりサポートする独自の体制です。

勉強から長く遠ざかっていて、何から手をつけていいのか分からないのですが…。パソコンは基本的な操作しかできませんが大丈夫でしょうか？

**A**  
勉強するのが久しぶりの方も多くいらっしゃいますが、入学前のオリエンテーションや各種マニュアルもあります。また、キャンパスアドバイザーと呼ばれる担当職員がサポートしますのでご安心ください。パソコンはメールの送受信やWordでのレポート作成ができればOKです！

最短で資格・教員免許状を取得するにはどうしたらいいですか？

**A**  
すでに4年制大学を卒業している方は、必要な単位のみ履修して、修了することができます。その他、他校種の教員免許状をお持ちの方や、学校での実務経験がある方は、さらに必要単位が軽減される場合があります。

仕事や家事・育児などと両立できるか不安ですが、きちんとやっていますか？

**A**  
東京未来大学 通信教育課程では、仕事と勉強を両立している方々がほとんどです。主な学習方法は「2 Semester・8ターム制」で学習を進める、「テキスト科目」です。教科書を読み、Web上で試験を受けるので、自宅等で学習を完結することができます。

履修計画を立ててみたけれど、これで本当に大丈夫かな…。

**A**  
目指す資格や教員免許状によって履修の優先順位が異なります。履修計画をご相談いただければ、過不足がないかキャンパスアドバイザーが細かくチェックします。科目の優先順位や履修時期についてのご相談、どのようにカリキュラムを見たら良いかななどを的確にアドバイスします。

教員免許状の取得を目指しているけれど「教育実習」や「教員採用試験」が心配です。

**A**  
教育実習に行く約1年前から準備が始まります。ご自身で出身校や近所の小学校・幼稚園へ教育実習の依頼をします。実習へ行く前に履修する科目もあるので、知識を身につけたうえで実習に臨むことになります。また、教員採用試験対策講座なども行っているため、試験の対策をすることができます。



スクーリングはどれくらい必要ですか？

よくある質問は  
こちらへ

出願書類について知りたい！

よくある質問





# 教職員紹介

## 学長



### 塚本 伸一 教授

立教大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程単位取得退学、博士(心理学)。国立上越教育大学助教授、立教大学文学部教授、同現代心理学部教授を経て、2022年4月立教大学名誉教授。この間、同大副総長、現代心理学部長、学校法人立教学院理事を歴任。現在、東京未来大学学長、学校法人三幸学園理事、日本応用心理学会理事。

【専門】 発達心理学、教育心理学  
【主な著書】 共著『応用心理学ハンドブック』(福村出版)、編著『現代心理学への招待』(樹村房)

## 副学長・こども心理学部長



### 出口 保行 教授

東京学芸大学大学院修了後、国家公務員心理職として法務省入省。犯罪者を心理分析する資質鑑別に従事。その他、法務省大臣官房秘書課勤務や国連派遣等を経験。法務省法務総合研究所研究部室長研究官を最後に退官し現職。

【専門】 犯罪心理学  
【主な著書】 『犯罪心理学者が教える 子どもを呪う言葉・救う言葉』(SB新書)、共著『犯罪心理学事典』(北大路書房)、共著『クローズアップ学校』(福村出版)

## モチベーション行動科学部長



### 高橋 一公 教授

明星大学大学院人文学研究科心理学専攻修士課程修了。一般企業の企画開発部にて適性検査等の開発に従事。その後、身延山大学、群馬医療福祉大学の准教授を経て現職。臨床発達心理士、精神保健福祉士。

【専門】 生涯発達心理学  
【主な著書】 編著『発達心理学15講』(北大路書房)、編著『青年心理学』(サイエンス社)、編著『心理学の世界』(サイエンス社)



### 大橋 恵 教授

東京大学大学院人文社会系研究科社会心理学専攻修了。博士(社会心理学)。放送大学や東京学芸大学等の非常勤講師を経て現職。潜在的な態度や地域スポーツでの人間関係などが現在のテーマ。専門社会調査士。

【専門】 社会心理学、文化心理学、教育心理学  
【主な著書】 共著『ジュニアスポーツコーチに知ってほしいこと』(勁草書房)、編著『集団の心理学』(サイエンス社)、共著『部活動指導員ガイドブック』(ミネルヴァ書房)



### 紙本 裕一 講師

広島大学大学院教育学研究科修士課程修了。広島県の附属中学校、公立中等高等学校での非常勤講師、梅光学院大学子ども未来学部専任講師を経て現職。専攻領域は数学教育。授業における聴く活動の可能性について研究している。

【専門】 数学教育学、子ども学  
【主な著書】 溝口 達也・岩崎 秀樹編『これだけは知っておきたい 小学校教師のための算数と数学』(ミネルヴァ書房)



### 川原 正人 准教授

筑波大学大学院人間総合科学研究科退学。大学附属相談施設、小・中学校のスクールカウンセリング、自衛隊医務室などで臨床活動を経て現職。臨床心理士。

【専門】 臨床心理学  
【主な著書】 『現代のエスプリ 発達障害とパーソナリティ障害 新たな邂逅』(ぎょうせい)、『子ども心理辞典』(一藝社)、『認知行動療法事典』(日本評論社)



### 高地 誠子 准教授

武蔵野音楽大学大学院(器楽専攻ピアノ)修了。修士(芸術学)。小・中・高等学校音楽科教員、音楽教室、小田原短期大学教員を経て現職。クラウス・ルンツェのメソッドを基に、ピアノを使った音楽遊びから始める幼児向けピアノ導入教育、子どもの感性を育てる音楽遊びの開発にも取り組んでいる。国内外での演奏活動も行っている。

【専門】 ピアノ、幼児音楽  
【主な著書】 共著『子どものための音楽表現技術』、共著『教育・保育実習に役立つ「部分実習指導案集」』、共著『表現指導法—感性を育て表現の世界を拓く—』(以上、明文書林)



### 小谷 博子 准教授

東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。博士(医学)。日本学術振興会特別研究員、東京電機大学先端工学研究所助手を経て現職。医療的ケア児と家族の支援、小児在宅医療の研究に従事。

【専門】 育児工学  
【主な著書】 『出産で女性は一瞬で賢くなる』(ごま書房)、『30才からのオメダタトレーニング』(新紀元社)、『私が一番輝くとき-自然なお産にチャレンジ!』(医学映像教育センター)



### 小林 祐一 准教授

千葉大学大学院修士課程修了(教育学)、東京都公立小学校教諭、東京学芸大学教職大学院(現職教員派遣プログラム)、東京都北区教育委員会指導主事、沖縄女子短期大学児童教育学科講師を経て現職。小学校教員時代から、地域を巻き込んだまちづくりの授業を実践してきた。教育行政では保幼小連携事業を担当。

【専門】 教育方法学、教師教育学  
【主な著書】 『初めて学ぶ人のための国語科教育概説 小学校』(明治図書)、『保育者を目指す人のためのことばの表現〜話す・聞く・書く〜』(建邦社)、『大学生のための国語表現』(東洋館)



### 篠原 京子 教授

茨城大学大学院教育学研究科教科教育専攻国語教育専攻修士課程修了後、茨城県公立小・中学校教諭として勤務、常葉大学教育学部准教授を経て現職。国語科教育における論理的思考力・表現力の育成をテーマに研究に取り組んでいる。

【専門】 国語科教育  
【主な著書】 『初めて学ぶ人のための国語科教育概説 小学校』(明治図書)、『保育者を目指す人のためのことばの表現〜話す・聞く・書く〜』(建邦社)、『大学生のための国語表現』(東洋館)



### 鈴木 哲也 教授

筑波大学大学院教育学研究科博士課程満期退学、埼玉純真短期大学や千葉大学、立教大学、さらには公立中学校・私立中・高の非常勤講師の経験後、秀明大学学校教師学部専任講師を経て現職。

【専門】 理科教育学、環境教育学  
【主な著書】 共著『学校飼育動物と生命尊重の指導』(教育開発研究所)



### 大村 美菜子 講師

立正大学大学院心理学研究科博士後期課程修了後、品川区教育相談員、聖路加看護大学相談室カウンセラー、東京福祉大学相談室カウンセラー、目白大学助教を経て現職。臨床心理士、公認心理師。

【専門】 臨床心理学  
【主な著書】 『青年期女子における醜形恐怖心性とその関連要因』(風間書房)



### 川口 めぐみ 講師

北海道大学大学院教育学院修了。札幌大谷大学短期大学部保育科専任講師、駒沢女子短期大学保育科専任講師を経て現職。視覚刺激と感情の関連について研究している。現在は、子どもの発達を支える大人の言葉刺激について興味を持ち研究を行っている。

【専門】 発達心理学、感情心理学  
【主な著書】 編著『保育の心理学 育ってほしい10の姿』(中山書店)、共著『子育て支援』(中山書店)



### 木内 菜保子 教授

岡山大学大学院教育学研究科学校教育専攻修了後、中国短期大学、川崎医療短期大学、関西福祉大学の非常勤講師を務めた後、中国学園大学子ども学部専任講師、同大学准教授を経て現職。子どもと作るワークショップやビジュアル言語をテーマに表現教育を研究している。

【専門】 教育学、表現教育



### 越川 葉子 准教授

立教大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程後期課程単位取得退学後、立教大学文学部教育学科助手、秋草学園短期大学講師、准教授を経て現職。社会で問題とされる現象がどのように成り立っているのか、問題の当事者とされる人々はいかなる経験をしているのかを明らかにすることをテーマとしている。

【専門】 教育学、教育社会学  
【主な著書】 共著『コンパス保育内容 人間関係(第6章)』(建邦社)、『「いじめ問題」にみる生徒間トラブルと学校の対応—教師が語るローカル・リアリティに着目して』(教育社会学研究第101集)



### 小林 久美 教授

福岡教育大学大学院教育学研究科家政教育専攻修士課程修了。九州女子短期大学助手、九州女子大学助手・講師、東京未来大学准教授を経て現職。

【専門】 家庭科教育  
【主な著書】 共著 松本峰雄監修『子どもの食と栄養演習ブック』(ミネルヴァ書房)、共著 中西雪夫・小林久美・貴志倫子編『小学校家庭科の授業をつくる 理論・実践の基礎知識』(学術図書)



### 佐々木 由美子 教授

白百合女子大学大学院博士課程単位取得満期退学。鶴川女子短期大学准教授を経て現職。子ども独自の世界に惹かれ、子どもの文化・文学を研究。子どもの物語受容のあり方や、育ちと文化の関わりが目下の研究テーマ。

【専門】 児童文化・文学、幼児教育  
【主な著書】 共著『子どもの本と<食>』(玉川大学出版部)、共著『保育者のための児童文化』(大学図書出版)



### 白石 雅紀 准教授

若手県立大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程満期退学、秋田看護福祉大学看護福祉学部助教、修紅短期大学幼児教育学科講師を経て現職。社会福祉士。博士(社会福祉学)。

【専門】 社会福祉、国際社会福祉  
【主な著書】 共著『「実践」が(理論)をコントロールするのであって、(理論)が「実践」をコントロールするのではない』(ブイツーソリューション)



### 鈴木 公啓 准教授

東洋大学大学院社会学研究科修了。博士(社会学)。武蔵野大学、東洋大学等の非常勤講師等を経て現職。アパレル業界との共同研究なども行う。

【専門】 パーソナリティ心理学、社会心理学  
【主な著書】 編著『パーソナリティ心理学概論』(ナカニシヤ出版)

## こども心理学部 (五十音順)



### 井梅 由美子 准教授

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程単位取得満期退学。相模女子大学、山梨英和大学、青山学院女子短期大学非常勤講師等を経て現職。他に精神科クリニック、小児科にてカウンセラーとして勤務。臨床心理士。

【専門】 臨床心理学  
【主な著書】 共著『はじめて学ぶ心理学』(大学図書出版)、共著『保育実践と家庭支援論』(勁草書房)



### 今井 康晴 准教授

広島大学大学院教育学研究科学習開発専攻博士後期課程単位取得満期退学後、武蔵野短期大学助教、専任講師を経て現職。埼玉県保育研究会助言者、保育園への園内研修講師等保育実践現場との研究活動を行っている。

【専門】 教育学、保育学、教育課程論、教育方法学  
【主な著書】 『保育原理』(東信堂)、『保育者・小学校教諭・特別支援学校教諭のための教職論』(北大路書房)



### 岩井 真澄 講師

都内の私立幼稚園にて担任、主任として勤務し、その後東京家政大学大学院人間生活学総合研究科児童学児童教育学専攻修士課程を修了。東京未来大学特任講師、大妻女子大学助教を経て現職。主に幼児教育におけるオペレッタについて研究している。

【専門】 幼児教育  
【主な著書】 共著『実践例から学びを深める保育内容・領域言葉指導法』(わかば社)



### 大内 善広 准教授

早稲田大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。修士(教育学)。早稲田大学教育学部助手、帝京学園短期大学講師、城西国際大学准教授を経て、現職。父親の子育て支援、子育てへの動機づけ、少数教育の効果、教育へのICT活用、言葉指導法、リカレント教育などの研究に携わっている。

【専門】 教育心理学、教育学、言葉指導法  
【主な著書】 共著『できる教師のマル秘テクニック① 3ステップでらくらく 1年間の通知表文例177』(教育開発研究所)、共著『教職に生かす教育心理学』(みらい)



### 太田 英樹 准教授

千葉大学大学院教育学研究科特別支援専攻修了。東京都立知的障害特別支援学校教諭として勤務。特別支援学校センター的機能の一環としてコーディネーターとなり、地域の巡回相談、教育相談、研修会講師に取り組む。

【専門】 特別支援教育  
【主な著書】 共著『特別支援教育時代の青年期教育』(群青社)



### 大橋 智 講師

立教大学大学院現代心理学研究科博士後期課程単位取得退学。教育相談室相談員、巡回相談員、明星大学心理学部実習指導員を経て、現職。地域における臨床心理学的援助のシステム作りや学校コンサルテーションに従事。臨床心理士。

【専門】 臨床心理学的地域援助、応用行動分析  
【主な著書】 『学校支援に活かす行動コンサルテーション実践ハンドブック：特別支援教育を踏まえた生徒指導・教育相談への展開』(学苑社)、翻訳『学校コンサルテーション統合モデルによる特別支援教育の推進』(学苑社)





### 須田 誠 教授

慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。慶應義塾大学医学部非常勤講師、武蔵野大学通信教育部専任講師を経て現職。公認心理師・臨床心理士として、市民や専門家に対して不登校・ひきこもり・発達障害・いじめ等の心理教育に携わる。

〔専門〕 臨床心理学、教育心理学、非行心理学  
〔主な著書〕 共著『現代社会と応用心理学 健康』（福村出版）、共著『はじめて学ぶ発達心理学』（大学図書出版）、共著『子ども学への招待』（ミネルヴァ書房）



### 高橋 文子 准教授

千葉大学教育学部卒業、茨城大学大学院修士課程修了。茨城県内の小・中学校、茨城大学教育学部附属中学校教諭を経て現職。印象派の補色対比の効果を理解する授業実践、教育的線描論、記憶スケッチなど感性と学び合いをテーマに研究をしている。

〔専門〕 美術教育  
〔主な著書〕 共著『子ども学への招待』（ミネルヴァ書房）、共著『初等図画工作科教育』（ミネルヴァ書房）



### 竹内 貞一 教授

東京学芸大学教育学部音楽科（フルート）卒業。同大学院音楽教育専攻音楽科教育講座修了。早稲田大学大学院文学研究科修了。音楽教育の場で生じていることを臨床心理学的な視点から捉えることが現在の研究テーマ。

〔専門〕 音楽教育、音楽心理学、芸術療法  
〔主な著書〕 『新 音楽の授業づくり』（教育芸術社）



### 藤後 悦子 教授

筑波大学教育研究科修了、東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科単位取得満期退学。筑波大学にて博士号（学術）取得。臨床心理士として、学校、保育園、子育て支援、スポーツ現場などに携わる。スポーツハラスメント、保育の場における家庭支援、学校臨床などが研究テーマ。

〔専門〕 コミュニティ心理学、臨床心理学、発達心理学  
〔主な著書〕 編著『社会的子育ての実現一人とながら社会をつなぐ、保育カウンセリングと保育ソーシャルワーク』（ナカニシヤ出版）、編著『スポーツで生き生き子育て&親育ち』（福村出版）



### 鳥海 弘子 講師

白梅学園大学大学院子ども学研究科修士課程修了。長年、公立保育所の看護師として勤務。秋草学園短期大学専任講師を経て現職。看護師、保育士。

〔専門〕 子ども学、小児保健  
〔主な著書〕 共著『保健衛生・安全対策』（ミネルヴァ書房）、共著『幼稚園・認定こども園キャリアアップ研修テキスト 保健衛生・安全対策』（中央法規）



### 西村 実穂 准教授

筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。2011年博士（学術）取得。大学院時代に保育士、看護師として勤務しながら保育、子どもや保育者の支援について学ぶ。関東地方、沖縄県の保育所や幼稚園において気になる子どもの巡回相談活動を実施している。東洋大学勤務を経て現職。

〔専門〕 保育学、小児保健  
〔主な著書〕 『こうすればうまくいく！ 医療的配慮に必要な子どもの保育』（中央法規出版）、『具体的な対応がわかる気になる子の偏食』（チャイルド本社）



### 橋元 知子 准教授

明治大学大学院国際日本学研究科博士後期課程修了。博士（国際日本学）。子ども教育室仙大助教（非常勤）、早稲田大学非常勤講師、フェリシア子ども短期大学専任准教授等を経て現職。小学校英語教育教員研修講師、小学校英語教育推進員研修講師、小学校での読み聞かせ活動等にも取り組む。保育士。

〔専門〕 応用言語学、第二言語習得論  
〔主な著書〕 共著『すぐに使える! 5's英語』（Jリサーチ出版）



### 藤本 昌樹 教授

東京学芸大学大学院教育学研究科心理学講座修了、東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科修了、博士（看護学）。公認心理師、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士。こども、家族を対象とした心理臨床の現場からスタートして、現在、トラウマケアについての実践的研究を行っている。

〔専門〕 臨床心理学、発達心理学、トラウマケア  
〔主な著書〕 編著『子どもの成長を支える発達教育相談（第4版）』（北樹出版）、『毒親の呪いを解く音楽CDブック』（マキノ出版）



### 高橋 純一 講師

北海道教育大学大学院社会科教育専修修了。修士（教育学）。東筑紫短期大学、環太平洋大学講師を経て現職。社会科における子どもの主体的な学びの創造や評価研究、富山市立堀川小学校における子どもを中心とした授業研究の分析に取り組んでいる。

〔専門〕 社会科教育学、教師教育学



### 宅間 雅哉 教授

国際基督教大学大学院教育学研究科博士前期課程英語教育法専修修了（教育学修士）。山梨大学非常勤講師、山梨県立女子短期大学非常勤講師、神奈川大学非常勤講師、山梨英和短期大学専任講師、同助教授、山梨英和大学教授を経て現職。

〔専門〕 英語学、英国の地名研究



### 坪井 寿子 教授

学習院大学大学院博士後期課程を中途退学。その後鎌倉女子大学にて、主に認知心理学、発達心理学、教育心理学の教育・研究活動に従事。都内の幼稚園・保育園・小学校の巡回相談員を経験。臨床発達心理士、学校心理士。

〔専門〕 認知心理学、発達心理学  
〔主な著書〕 『心理学 ころと行動のメカニズムを探る』（樹村房）



### 利根川 智子 准教授

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程単位取得満期退学後、会津大学短期大学部専任講師、助教授・准教授、東北福祉大学准教授を経て、現職。保育者養成、乳幼児の社会性に興味をもち、研究を行っている。

〔専門〕 保育、発達心理学  
〔主な著書〕 共著『アタッチメント 生涯にわたる絆（第9章）』（ミネルヴァ書房）



### 永井 伸人 准教授

国士館大学体育学部体育学科卒業、人間総合科学大学大学院修士課程人間総合科学研究科心身健康科学専攻通信教育課程修了。國學院高等学校、國學院大学幼児教育専門学校、二松學舎大学非常勤講師、大阪成蹊短期大学幼児教育学科専任講師を経て現職。「心と体」の健康づくりをテーマに活動をしている。

〔専門〕 子どもの体育、運動指導法、健康  
〔主な著書〕 共著『乳幼児・児童の運動あそびと表現あそび』（大学図書出版）、共著『新・保育と健康』（嵯峨野書院）、共著『幼児体育（上級）理論と実践』（大学教育出版）



### 野澤 義隆 講師

立正大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了。帝京学園短期大学、立正大学、東京都大学の教員を経て現職。夫婦関係の発達や育児ストレス緩和効果の研究、父親の育児意欲などの研究を行いながら、埼玉県保育士等キャリアアップ研修や子育て支援関連施設での研修会講師を務める。社会福祉士。

〔専門〕 社会福祉学、子ども家庭福祉  
〔主な著書〕 『保育と社会的養護Ⅰ』（みらい）、『社会福祉』（ミネルヴァ書房）



### 日向野 智子 准教授

東北福祉大学社会福祉学部卒業、昭和女子大学大学院生活機構研究科博士後期課程修了。博士（学術）。立正大学心理学部特任講師を経て現職。対人関係における苦手意識や保育士のコミュニケーション・スキルなどを研究している。

〔専門〕 社会心理学  
〔主な著書〕 編著『子ども学への招待』（ミネルヴァ書房）、共著『組織行動の心理学』（北大路書房）、共著『心理学概論』（ナカニシヤ出版）



### 真家 英俊 教授

東京学芸大学大学院教育学研究科修了。三幸学園グループのリゾート＆スポーツ専門学校（東京校、横浜校）の教員を経て現職。身体運動を調節するメカニズムに興味を持ち、特に幼児・児童期における姿勢調節の発達過程について研究している。

〔専門〕 運動生理学、スポーツバイオメカニクス  
〔主な著書〕 共著『保育内容「健康」-幼稚園教諭・保育士をめざす-』（主文社）



### 横地 早和子 准教授

名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程修了。博士（心理学）。東京大学大学院教育学研究科特任助教を経て現職。

〔専門〕 認知心理学、教育心理学  
〔主な著書〕 共著『実践知-エキスパートの知性』（有斐閣）、共著『感情と思考の科学事典』（朝倉書店）



### 渡辺 千歳 教授

お茶の水女子大学大学院博士課程修了後、保健所での言葉の相談、保育園での発達支援児巡回相談など、発達につまずきのある子どもに関する相談活動に携わる。國學院大学栃木短期大学教授を経て現職。臨床発達心理士。

〔専門〕 発達心理学、臨床発達心理学  
〔主な著書〕 『教育心理学エッセイ』（川島書店）、『はじめて学ぶ心理学』（大学図書出版）、『生徒を理解する』（学文社）

## こども心理学部（通信教育課程 特任）



### 阿部 昇 特任教授

秋田大学教育文化学部教授、秋田大学大学院教育学研究科教授を経て現職。秋田大学名誉教授。日本教育方法学会理事、日本NIE学会理事。小学校中学校国語教科書編集委員（光村図書）、2007～2019年秋田県検証改善委員会委員長。読み方教育、探究型授業、学習集団、学力調査等の研究を行っている。

〔専門〕 国語科教育学、教育方法学  
〔主な著書〕 『国語力をつける物語・小説の「読み」の授業』『文章吟味力を鍛える』『アクティブラーニングを生かした探究型の授業づくり』（以上、明治図書）他



### 三國 隆子 特任教授

早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学後、郡山女子大学専任講師、東京立正短期大学教授を経て現職。現在は、保育所・学童保育複合施設を対象に、幼児期から児童期の発達のつながりについて、園舎等、建築の要素を含めた環境の視点から研究している。

〔専門〕 発達心理学、こども環境学  
〔主な著書〕 共著『実践事例に基づく障害児保育ちよっと気になる子への関わり』（保育出版社）、共著『子育て・子育て支援学』（保育出版社）



### 森高 光広 特任教授

千葉大学教育学部卒業。小・中・高校（美術）教員免許取得。公立中学校勤務後、千葉大学附属小学校勤務。植草学園大学発達教育学部教授を経て、植草学園大学名誉教授。現在、他に複数の教員、非常勤講師。私立幼稚園で放課後造形教室も担当する。長年、小学校、中学校の読書感想書の指導実践に関わる。

〔専門〕 造形教育、図画工作科教育  
〔主な著書〕 共著『子どもの心に語りかける表現教育』（あいり出版）、共著『造形表現—一藝社、共著『表現教育にはそんなこともできるのか』（あいり出版）

## 保育・教職センター（五十音順）



### 浅井 かおり 特任准教授

東京都、神奈川県にて私立幼稚園、私立保育所等に勤務。専門学校および大学の勤務を経て現職。東京家政大学大学院人間生活学総合研究科児童学児童教育学専攻修士課程を修了。千葉県での認可外保育施設員の確保・質の向上のための巡回支援指導事業にも携わる。

〔専門〕 保育学



### 横畑 泰希 准教授

東洋大学法学部卒業後、民間企業会社員を経て、立正大学文学部卒、淑徳大学大学院総合福祉研究科博士後期課程満期退学。民間保育園、保育園団体、福島学院大学等を経て現職。臨床発達心理士として、乳幼児から大人までの心理臨床、発達障害児の療育にも携わっている。

〔専門〕 発達臨床心理学、乳児保育  
〔主な著書〕 『保育内容・領域 言葉 演習と講義』、共著『乳児保育 演習と講義 改訂版』（以上、クオリティケア）、共著『ライフステージを見通した障害児の保育・教育』（みらい）



### 伊藤 久恵 特任准教授

東京学芸大学教育学部音楽科卒業。同大学院教育学研究科音楽教育専攻修了。音楽専門誌の記者を経て、ESPエンタテインメント東京兼任講師、および現職。現在の研究テーマは音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方について。

〔専門〕 音楽教育学、幼児音楽  
〔主な著書〕 共著『保育者養成のための音楽表現—模擬実践をとおして学ぶ』（大学図書出版）



### 宮下 治 特任教授

東京学芸大学大学院修了。博士（学校教育学）。東京都立高校教諭、東京都教育委員会指導主事・課長、愛知教育大学教授、順天堂大学教授等を経て現職。なお、現在は日本女子大学特任教授を本務校としている。東京都や神奈川県公立学校で学校評議員を務めるなど、学校教育の発展にも取り組んでいる。

〔専門〕 理科教育学、学校教育学、教師教育学  
〔主な著書〕 『野外自然体験学習と理科教育』（春風社）、『実践 理科教育法』（関東学院大学出版会）、単著『実践 理科授業論』（デザインエック株式会社）



### 金子 明日香 特任講師

東京未来大学こども心理学部こども保育・教育専攻を卒業。卒業後は、足立区の私立保育所に保育士として勤務。現在は、母校と現場での経験を活かし、学生の指導に当たっている。

〔専門〕 乳児・幼児教育





### 岸本 直美 特任准教授

筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程生涯発達専攻修了。東京都内区立保育園にて、保育士及び園長として勤務。その後、人材育成に携わる研修担当課長等、区役所管理職を経て現職。保育士・幼稚園教諭一種・公認心理師・学校心理士。

【専門】 保育学



### 北濱 千枝子 特任准教授

東京学芸大学教育学部小学校教員養成課程学校教育専攻卒業。児童養護施設での勤務を経て、児童発達支援センターや保育所・小学校の巡回相談に従事し、子ども・保護者・支援者の支援に専心する。臨床発達心理士・保育士・公認心理師。

【専門】 発達臨床



### 田澤 佳昭 准教授

日本大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学後、追都大学講師、同准教授を経て現職。尖閣諸島をめぐる日・中対立など、中国と周辺諸国が対立する沖合島嶼の領有権問題や、海洋境界画定問題の研究に取り組んでいる。

【専門】 国際政治



### 田中 真奈美 教授

1985年に留学生として渡米。サンフランシスコ大学で社会学(学士)、教育カウンセリング(修士)、国際多文化教育(博士)取得。博士(教育学)。アメリカで幼稚園から大学まで幅広い教育経験を持つ。研究分野は在米22年の経験を生かし、異文化間教育、異文化間コミュニケーション、アイデンティティ、異文化適応など。

【専門】 国際・多文化教育  
【主な著書】 共著『ノンフォーマル教育から公教育への多文化共生に向けた提言-日本、アメリカ、タイの事例から』(外為印刷)



### 小山 勉 特任教授

都内公立幼稚園、小学校、中学校の管理職や教科委員会指導室(課)長を経て現職。全日本小学校学校図書館研究会長、日本学校図書館学会事務局長、公立小学校校長、公立幼稚園・こども園園長等を歴任。幼・小・中・教育行政の経験を活かし、学生の指導に当たっている。

【専門】 学校図書館



### 柴田 啓一 特任教授

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得満期退学。鶴川女子短期大学専任講師を経て現職。保育労働とジェンダーの問題や、男性保育者のキャリア形成等に関心があり研究を進めている。また、男性の育児の問題にも関心があり、父親を対象とした子育て講座の講師も務めている。

【専門】 家族社会学、労働社会学  
【主な著書】 共著『子ども家庭支援論』(建帛社)、共著『保育士をめざす人のための施設実習ガイド』(みらい)



### 中澤 純一 講師

中央大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程修了、学校法人興誠学園 浜松学院中学校・高等学校教諭を経て現職。多様性の尊重及び社会正義の実現の視点から、マジョリティである日本人児童生徒の意識変容のための単元開発・授業づくりを研究・実践上の課題としている。博士(教育学)。

【専門】 多文化教育学、国際理解教育、社会科教育学  
【主な著書】 共著『社会科における多文化教育-多様性・社会正義・公正を学ぶ-』(明石書店)



### 埴田 健司 准教授

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士(社会学)。追手門学院大学心理学部特任助教、東京未来大学モチベーション行動科学部講師を経て現職。社会的判断・行動に関わる非意識的な心理過程について研究している。

【専門】 社会心理学、社会的認知  
【主な著書】 共著『集団心理学』(サイエンス社)、共著『新版エピソードでわかる社会心理学』(北樹出版)



### 鈴木 亮太 特任教授

茨城大学大学院教育学研究科修士課程修了、早稲田大学教育学部大学院教育学研究科博士後期課程(同大学採用の為)中退、修士(教育学)。民間企業経験後、公立小中学校教諭・管理職を経て現職。早稲田大学、白百合女子大学、中央学院大学等で非常勤講師、さらに早稲田大学教師教育研究所にて、教師の在り方等について研究している。

【専門】 教育学  
【主な著書】 編著『今こそ総合 教師が育つ、子どもが育つ』(大日本図書)、『中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編』(文部科学省)、『中等教育資料』(ぎょうせい)



### 長谷川 かほる 特任教授

東京学芸大学教育学部初等教育社会科専攻を卒業後、都内の公立小学校教諭、副校長、校長を経て現職。教育実習に関わる事前事後の指導や、キャリアガイダンスなど教員採用試験に関わる対策の指導に従事している。

【専門】 生活科・総合的な学習、学級経営、教育学  
【主な著書】 『保護者対応12か月』(小学館)



### 三浦 卓己 講師

ビジネス・ブレイクスルー大学大学院経営学研究科経営管理専攻修了、法政大学大学院経営学研究科経営学専攻マーケティングコース修了。国内外金融機関、地方創生を目的とする事業会社を経て教員に転身。東京未来大学非常勤講師を経て現職。株式会社Passionate Genius社外取締役。

【専門】 マーケティング、消費者行動、ブランド  
【主な著書】 『ゼロからのマーケティング入門』(現代図書出版)



### 森下 一成 教授

早稲田大学大学院政治学研究科、同理工学研究科修士課程修了。沖縄の公共空間を研究テーマとし、琉球大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。上武大学ビジネス情報学部准教授などをを経て現職。自らまちづくりに携わり、それに参加する学生のキャリア形成を促すことを研究・教育上の課題としている。

【専門】 都市・地域計画、地域社会、キャリア教育  
【主な著書】 共著『公民教育辞典』(第一学習社)、『社会科学ザ・ベスト・プラス』(エクシア出版)



### 宮下 恵理 特任講師

公立保育所に勤務。その後児童発達支援事業所にて幼児の発達支援に携わり、障害者入所施設(グループホーム)の支援員としての知的及び身体に障害がある方のサポート業務を経て現職。

【専門】 保育学



### 山下 美代子 特任講師

公立保育所に勤務した後、認可外保育施設の運営、子育て相談や、地域保健に携わる。日本女子体育大学大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻修士課程を修了し、現在に至る。

【専門】 健康、保育



### 山極 和佳 教授

早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程修了後、早稲田大学助手、東京福祉大学講師を経て現職。博士(人間科学)。臨床心理士として、臨床心理実践に取り組んでいる。

【専門】 臨床心理学  
【主な著書】 『生理的緊張パターンからとらえた催眠の意識状態の特性に関する研究』



### 山崎 善弘 准教授

関西大学大学院文学研究科史学専攻博士課程後期課程修了。神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター研究員、奈良教育大学教育学部准教授を経て現職。博士(文学)。2020年にハーバード大学東アジア言語・文明学部の招聘研究員に就任。

【専門】 日本近世・近代史  
【主な著書】 『近世後期の領土支配と地域社会-「百姓成立」と中間層』(清文堂出版)、『徳川社会の底力』(柏書房)、『村役人のお仕事』(東京堂出版)

## モチベーション行動科学部 (五十音順)



### 石橋 里美 准教授

青山学院大学文学部卒業後、大手メーカー営業・人事職に従事した後、信州大学大学院人文学研究科地域文化専攻社会心理学領域修了。芝浦工業大学、東京国際大学、東京未来大学他の非常勤講師を経て現職。

【専門】 産業・組織心理学  
【主な著書】 『キャリア開発の産業・組織心理学ワークブック【第2版】』(ナカニシヤ出版)、共著『社会心理学:シリーズ心理学と仕事10』(北大路書房)



### 磯 友輝子 教授

名古屋大学文学部卒業、大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程満期退学。大阪大学大学院人間科学研究科助手の後、本学こども心理学部講師、准教授を経て現職。会話中のくさや良好な対人関係に必要なスキルについて研究している。

【専門】 社会心理学  
【主な著書】 『暮らしの中の社会心理学』(ナカニシヤ出版)、『幸福を目指す対人社会心理学-対人コミュニケーションと対人関係の科学-』(ナカニシヤ出版)



### 岩崎 智史 講師

立正大学大学院文学研究科修士課程修了。立正大学大学院心理学研究科博士課程修了後、現職。主に人間の情報処理と気分を対象に調査・研究を行っているが、近年では感覚、感性に研究対象をシフト中。

【専門】 認知心理学  
【主な著書】 共著『東京未来大学テキストシリーズ情報処理I』(ムイスリ出版)



### 郭 潔蓉 教授

ボストン大学大学院国際関係学修士課程、筑波大学大学院社会科学研究科博士課程修了後、大東文化大学、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院の教職を経て現職。グローバル人材の育成に取り組んでいる。博士(法学)。

【専門】 東アジア・東南アジア政治経済、国際経営環境分析  
【主な著書】 共著『統計データを読み解く移動する人々と日本社会』(ナカニシヤ出版)、共著『3.11後の多文化家族』(明石書店)



### 金塚 基 准教授

早稲田大学大学院教育学研究科単位取得退学、帝京大学福祉・保育専門学校専任講師を経て現職。主な問題関心のテーマは教育と貧困。博士(教育学)。

【専門】 教育と多文化共生  
【主な著書】 共編『グローバル教育の現在』(ムイスリ出版)



### 小林 寛子 准教授

東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学後、日本学術振興会特別研究員PDを経て現職。理解や問題解決などの認知活動における不応の問題に、個別学習指導や授業改善を通して、取り組んでいる。博士(教育学)。

【専門】 教育心理学、認知心理学  
【主な著書】 共著『教育心理学の実践ベース・アプローチ-実践しつつ研究を創出する-』(東京大学出版会)、共著『自ら学び考える子どもを育てる教育の方法と技術』(北大路書房)



### 島内 晶 准教授

明治学院大学大学院心理学研究科博士後期課程修了。博士(心理学)。(地独)東京都健康長寿医療センター研究所(旧、東京都老人総合研究所)研究補助員・研究生、群馬医療福祉大学社会福祉学部准教授を経て、現職。高齢者の記憶の認識、記憶愁訴、記憶の誤りなどについて研究を行っている。

【専門】 高齢者心理学、生涯発達心理学  
【主な著書】 共著『発達心理学-健やかで幸せな発達をめざして-』(丸善出版)、共著『高齢者のこころとからだ事典』(中央法規出版)



### 杉本 雅彦 教授

信州大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学、博士(工学)。明星大学、長野県短期大学、拓殖大学北海道短期大学を経て現職。学生時代から続けているスキーが趣味。

【専門】 ヒューマンインターフェース  
【主な著書】 『心理教育の学生のための 情報リテラシー & 情報処理』(ムイスリ出版)

## キャンパスアドバイザー(CA) (五十音順)



前田 孝治



荒川 薫



石川 祥子



川井 初美



轡田 奈津子



小林 寛衣



篠原 順子



菅原 恵



関 厚美



田中 啓子



中村 静香



満田 拓



八木 紀子



山口 茉莉



山ノ内 玲奈



# 教育理念

(通信教育課程 抜粋)

東京未来大学の教育理念  
全文はこちらから  
ご確認ください→



「技能と心の調和」 専門的な知識や技能を学ぶと共に人間性豊かな心を併せ持つ人を養成するため、「技能と心の調和」を教育理念とする。

## ■ 通信教育課程 教育の目的

本課程は、教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従い、技能と心の調和を教育理念に掲げ、高度な専門的知識・技能、人間性の豊かな心、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材を養成する。また、本学の教育を通信の方法により提供することで、時間や場所、職業などに関わらず、多くの人たちが学習できる機会を実現し、もって生涯教育の拠点として地域・社会の発展に貢献するものとする。

### 子ども心理学部 子ども心理学科通信教育課程

教育の目的	幅広い教養を前提とし、本学の教育を通信の方法により提供することで、時間や場所、職業などにかかわらず、多くの人たちが学習できる機会を実現し、知識・技能及び人間性さらには意思決定能力を自ら磨き、もって生涯教育の拠点として地域・社会の発展に貢献する人材を養成する。
アドミッション・ポリシー	<p>大学及び子ども心理学部の教育目標を理解して学びを深め、積極的に人と関わり円滑な対人関係を構築することのできる人間力を持つ学生の入学を期待する。そのためには、常に学修への高い意欲を保持し、子ども心理学部の教育及び将来の社会の要請に応える力を身につける積極性が求められる。ついては、大学内外における様々な活動やボランティア経験及び様々な個性・技能を持った学生を幅広く受け入れるための方針をここに示し、それに基づく学生の受け入れを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な事柄に興味・関心を持ち、自身の経験や知識と関連付けて学ぶことができる。</li> <li>● 自分の考えを適切に表現し、他者理解をもって人間関係を構築することができる。</li> <li>● 子どもを中心としたあらゆる年代の心理と行動をはじめとし、幅広い内容について興味・関心を有し、心理学的観点からもその背景やプロセスについて論理的に理解することに積極的である。</li> <li>● 多様な人々と積極的に関わり、互いに理解し尊重し合ったうえで適切な対人関係を構築すること及びその対人関係の構築について心理面からの理解と充実した表現方法による円滑なコミュニケーションを行うことに意欲的である。</li> </ul>
カリキュラム・ポリシー	<p>幅広い教養を1年次から履修することと同時に、子どもを中心とした心理と行動の理解及び子どもの「こころ」と「からだ」の健全な発達を理解を基盤とした以下の教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども心理学の様々な領域における体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。</li> <li>● 子ども理解に根ざした心理学、保育学、教育学、福祉学等に関する体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。</li> <li>● 子どもの家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりについて理解を深める。</li> <li>● 選択により卒業研究科目として、子ども心理学演習(3年次)、卒業研究(4年次)を履修し学問研究を深めることができ、多様な学びに対応する。</li> <li>● 本学の共通及び通信教育課程が指定する学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)の形成を目指す。</li> </ul>
ディプロマ・ポリシー	<p>以下の要件を満たす人材を養成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。</li> <li>● 子どもに関する心理を中心に、学士として十分な子ども心理学の専門的知識・技能を修得している。</li> <li>● 家庭との関わり、環境や文化との関わりの中で育つ子どもの教育・保育・福祉側面と子ども心理学に関する専門的知識・技能を修得している。</li> <li>● 実社会で活躍できるような、本学の共通及び通信教育課程が指定した学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)を修得している。</li> </ul>

### モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科通信教育課程

教育の目的	社会で必要とされる「組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーション」、「他者を理解し、円滑な対人関係を志向するモチベーション」、「広い関心と学びを促すモチベーション」を学び理解することにより、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化することのできる人材を養成する。
アドミッション・ポリシー	<p>大学及びモチベーション行動科学部の教育目標を学び理解することにより、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化させる可能性を持つ学生の入学を期待する。そして、様々な経験を通して得られる人間力を高めていくことのできる学生、豊かな個性・経験・技能を持った学生を幅広く受け入れるための方針をここに示し、それに基づく学生の受け入れを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● モチベーション行動科学部で学ぶことに強い意欲をもっている。</li> <li>● 豊かな発想力で主体的に考え行動することができる。</li> <li>● 企業人や公務員、各種法人職員等として活躍しながら、モチベーションについて学ぶことにより、組織貢献を希望している。</li> <li>● 社会の一線を引き、家庭や地域コミュニティの中で生き残り、その対人関係及びコミュニケーションの円滑化や活力の向上を求めて、学びに興味をもっている。</li> </ul>
カリキュラム・ポリシー	<p>卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる知識・技能の修得を円滑に進めることができるよう、一般教育科目、専門教育科目を体系的に編成し、テキスト科目、スクーリング科目、メディア科目を有機的に連携させた授業を開講する。</p> <p>(1) 一般教育科目では、社会・文化・自然に対する視点や考え方を育てることを目的とする教養科目、憲法、体育、情報、語学を学び、学生自身の理解度と学習進度に合った授業を行う。</p> <p>(2) 専門教育科目は、心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群を必修とする。このうち、学びの基盤となるのは心理・コミュニケーション科目群であり、この科目群に置かれた科目を学ぶ中で、モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーション・スキルを身につけ、さらに経営科目群、教育科目群におかれた科目を学ぶことで、各科目群が複合的に結びつき、広い視野での学びを可能にする。</p> <p>(3) 通信教育課程では選択により卒業研究科目として、演習Ⅰ(3年次)、演習Ⅱ(3年次)、卒業研究(4年次)を履修し学問研究を深めることができ、多様な学びに対応する。</p>
ディプロマ・ポリシー	<p>心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群にわたって専門的な知識を学び、所定の単位を修得するとともに、社会に貢献しうる者に「学士(行動科学)」の学位を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。</p> <p>(1) 個人をみつめる力を身につけること。</p> <p>客観的な視点で人間行動を理解し分析することができ、モチベーションやリーダーシップに関する専門的知識を備え、所属する集団や組織、社会における成員の活動を促進する力を修得している。</p> <p>(2) 他者と関わる力を身につけること。</p> <p>他者を肯定的に理解することができ、他者と円滑な対人関係を構築できる高いコミュニケーション能力と対人関係スキルを身につけ、他者や社会とより健全な関わりをもつ力を修得している。</p> <p>(3) 組織を動かす力を身につけること。</p> <p>集団・組織の中で自分の立場を理解し、組織行動に関する基礎的知識を備え、組織活性化や人材の育成に取り組む力を修得している。</p>

# 学校法人 三幸学園について



「技能と心の調和」が、私たちの教育の原点です。

三幸学園の教育理念は「技能と心の調和」です。これは、専門的知識や技術を習得するとともに心を磨く、人間性を磨く、つまり、心豊かな人間性を育てることに教育の目標をおいたものです。

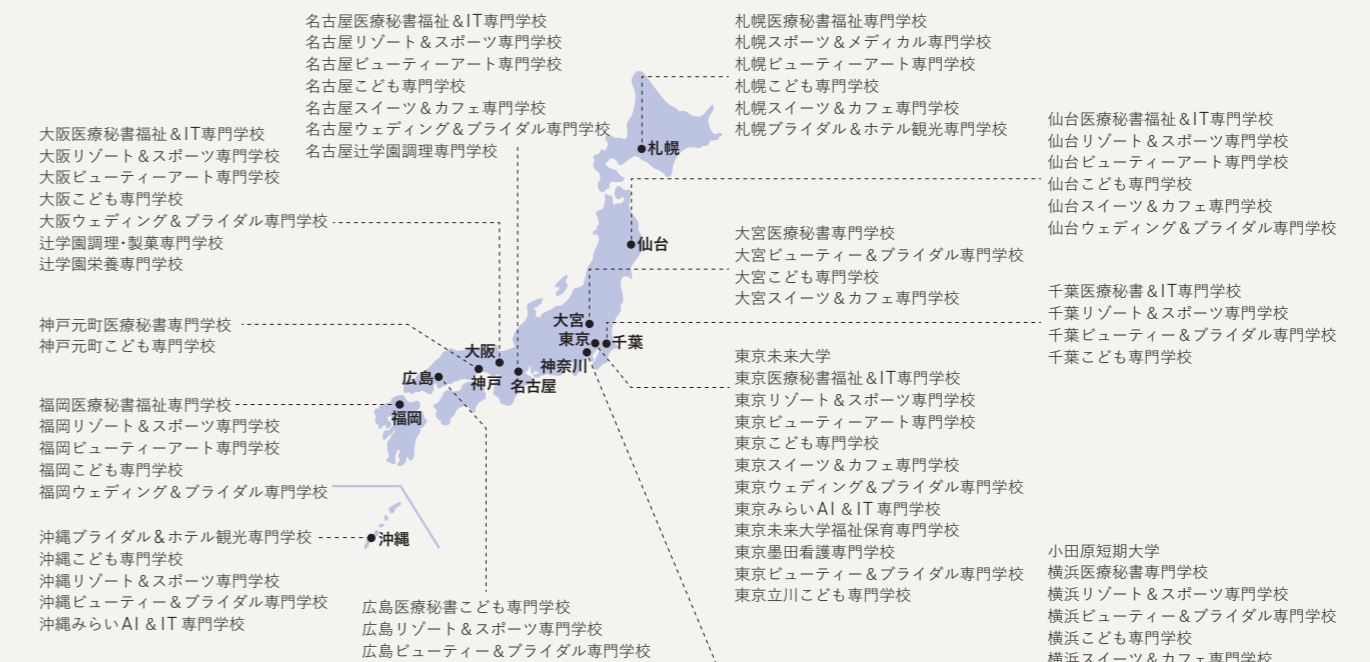
技術は、努力と経験によって身につけることができます。しかし、優れた技術を身につけていることだけではなく、時には人を支えていける強い気持ちと思いやりの心を併せ持つ人材こそが求められていると、私たちは考えます。社会に出る前の大切な時期を過ごす学校という場を通して、教職員と学生、先輩と後輩、仲間である学生同士がお互いに感動を共有するとともに、目上の方に対するマナー、言葉遣い、礼儀などをしっかりと学んでいただきます。

今までも、これからも「技能と心の調和」が私たちの教育方針です。

## 昭和60年に設立された学校法人三幸学園には30年以上の歴史があります。

全国各地に教育機関を展開。多くの卒業生が、社会のあらゆる分野で活躍中です。

### 学校法人 三幸学園姉妹校一覧



### 三幸グループについて

三幸学園を展開している三幸グループでは、他にも以下のような事業展開を行っています。

【その他学校・施設】学校法人 三幸学園 飛鳥未来高等学校・飛鳥未来きずな高等学校(広域通信制高校)/東京未来大学こどもみらい園/東京未来大学みらいフリースクール/飛鳥未来中等部・初等部/支援学校仙台みらい高等学園/ぼけっとランド(認証・認可保育園)/こころの保育園(認可保育園)/キッズ大陸(スポーツ幼児園)/SANKO日本語学校

社会福祉法人 三幸福祉会 特別養護老人ホーム 癒しの里/有料老人ホーム 社の癒しハウス

【生涯教育事業】株式会社 日本教育クリエイト 日本医療事務協会/三幸医療カレッジ/三幸福祉カレッジ/三幸保育カレッジ/クリエ・スクール/三幸日本語教師養成カレッジ

【人材派遣・紹介・委託事業】株式会社 日本教育クリエイト クリエイトスタッフ医療事業部/クリエイトスタッフ福祉事業部

【ダイビング事業】株式会社 マレア・クリエイト

【美容事業】株式会社 クリエ・化粧品

### 東京未来大学沿革

平成18年	11月	大学設置認可
平成18年	4月	開学。子ども心理学部開設(通学課程/通信教育課程)幼稚園教諭一種免許状認可(通学課程/通信教育課程)
	10月	科目等履修生募集開始(通信教育課程)
平成21年	4月	正科生(3年次編入学)募集開始(通信教育課程)。小学校教諭一種免許状認可(通信教育課程)
平成24年	4月	モチベーション行動科学部開設(通学課程)。小学校教諭一種免許状認可(通学課程)
平成25年	4月	モチベーション行動科学部開設(通信教育課程)
平成26年	7月	東京未来大学 こどもみらい園開園